

# 防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム

令和3年4月  
近畿地方整備局

## 1. プログラムについて

近年、気候変動の影響により気象災害が激甚化・頻発化し、大規模地震の発生も切迫している。また、高度成長期以降に集中的に整備された多くのインフラの老朽化が見込まれることから、それらの維持管理・更新を確実に実施する必要があるが、適切に対応しなければ、中長期的なトータルコストの増大を招くのみならず、我が国の行政・社会経済システムが機能不全に陥る懸念がある。

こうした状況を踏まえ、政府は防災・減災、国土強靱化の取組の更なる加速化・深化を図るため、令和3年度から令和7年度までの5年間で、追加的に必要となる事業規模を政府全体でおおむね15兆円程度を目途として、重点的かつ集中的に講ずる対策を定めた「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」（以降、「5か年加速化対策」）を令和2年12月11日に閣議決定した。

道路事業においては、「5か年加速化対策」に位置づけられた目標や事業規模等を踏まえ、各都道府県における5か年の具体的な事業進捗見込み等を示し、計画的な事業執行に取り組むとともに、周辺の開発事業等との連携を図りながら、対策の効果をより一層高めることを目的として、本プログラムを策定するものである。

## 2. 対策概要

令和2年11月には、社会資本整備審議会道路分科会近畿地方小委員会の意見を踏まえ、高規格道路<sup>※</sup>と直轄国道を組み合わせた災害に強い国土幹線道路ネットワークを選定するとともに、防災上の課題箇所を把握したところである。

※高規格幹線道路、地域高規格道路（計画路線）、その他計画段階評価等の調査が進捗している路線等をベースに選定

そのため、災害に強い国土幹線道路ネットワークにおける「5か年加速化対策」に位置付けられた下記の道路分野の対策を中心に、防災・減災、国土強靱化の取り組みを重点的かつ集中的に実施する。

- ①高規格道路のミッシングリンク解消及び4車線化、高規格道路と直轄国道とのダブルネットワーク化等による道路ネットワークの機能強化対策

近年、激甚化・頻発化する災害から速やかに復旧・復興するためには、道路ネットワークの機能強化が必要不可欠である。発災後概ね1日以内に緊急車両の通行を確保し、概ね1週間以内に一般車両の通行を確保することを目標として、災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能を確保するため、高規格道路のミッシングリンクの解消及び暫定2車線区間の4車線化、高規格道路と代替機能を発揮する直轄国道とのダブルネットワークの強化等を推進する。

## ②道路施設の老朽化対策

今後、急速に進展する道路施設の老朽化に対し、ライフサイクルコストの低減や持続可能な維持管理を実現する予防保全による道路メンテナンスへ早期に移行するため、定期点検等により確認された修繕が必要な道路施設（橋梁、トンネル、道路附属物、舗装等）の対策を推進する。

## ③渡河部の橋梁や河川に隣接する道路構造物の流失防止対策

令和2年7月豪雨では、梅雨前線の停滞による記録的な大雨により、河川の氾濫および橋梁の流失、河川隣接区間の道路流失等が発生した。通行止めが長期化する渡河部の橋梁流失や河川隣接区間の道路流失等の災害リスクに対し、橋梁・道路の洗掘・流失対策や橋梁の架け替え等を推進する。

## ④道路の高架区間等を活用した津波や洪水からの浸水避難対策

切迫している南海トラフ地震や激甚化する豪雨災害などに備え、津波や洪水からの緊急避難場所を確保するため、地方公共団体のニーズを踏まえ、予測浸水深よりも高い位置に整備されている直轄国道の高架区間等を緊急避難場所として活用するための避難施設（避難階段等）の整備を推進する。

## ⑤道路の法面・盛土の土砂災害防止対策

令和2年7月豪雨をはじめとする近年の豪雨では、道路区域内だけでなく道路区域外からも土砂崩落が発生し、高速道路及び直轄国道等の幹線道路に長時間にわたる通行止めが生じるなど道路交通に支障を及ぼす事態が発生した。道路の法面や盛土において、レーザープロファイラ調査等の高度化された点検手法等により新たに把握された災害リスク等に対し、豪雨による土砂災害等の発生を防止するため、法面・盛土対策を推進する。

## ⑥市街地等の緊急輸送道路における無電柱化対策

令和元年房総半島台風では、既往最大風速を更新する局地的な強風等により約 2,000 本の電柱が倒壊し、道路閉塞に伴う通行止め等により復旧活動に支障が生じた。電柱倒壊による道路閉塞のリスクがある市街地等の緊急輸送道路において、道路閉塞等の被害を防止するため無電柱化を推進する。

## ⑦IT を活用した道路管理体制の強化対策

災害発生時や復旧段階において、道路状況を速やかに把握した上で円滑な交通を確保することは、人命救助、復旧・復興、社会経済活動において必要不可欠である。遠隔からの道路の異常の早期発見、維持管理作業等の自動化・無人化、過積載等の違反車両の取り締まりを行う体制の強化や AI 技術等の活用による立ち往生車両の自動検知システムの導入など、維持管理の効率化・省力化を推進する。

## 3. 対策実施箇所

- |                              |          |
|------------------------------|----------|
| ①災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策    | 【別添 図 1】 |
| ②道路施設の老朽化対策                  | 【別添 図 2】 |
| ③渡河部の橋梁や河川に隣接する道路構造物の流失防止対策  | 【別添 図 3】 |
| ④道路の高架区間等を活用した津波や洪水からの浸水避難対策 | 【別添 図 4】 |
| ⑤道路の法面・盛土の土砂災害防止対策           | 【別添 図 5】 |
| ⑥市街地等の緊急輸送道路における無電柱化対策       | 【別添 図 6】 |
| ⑦IT を活用した道路管理体制の強化対策         | 【別添 図 7】 |

## 4. その他

「5か年加速化対策」において示された事業規模は、今後の災害の発生状況や事業の進捗状況、経済情勢・財政事情等を踏まえ、機動的・弾力的に変動するものであり、本プログラムにおける事業進捗等もそれに応じて変わり得るものである。

また、本プログラムの事業進捗等については、必要に応じて、見直しを行うものとする。

以上

調査中箇所(ネットワーク) 道路網調査 計画段階評価推進/都計・アセス推進

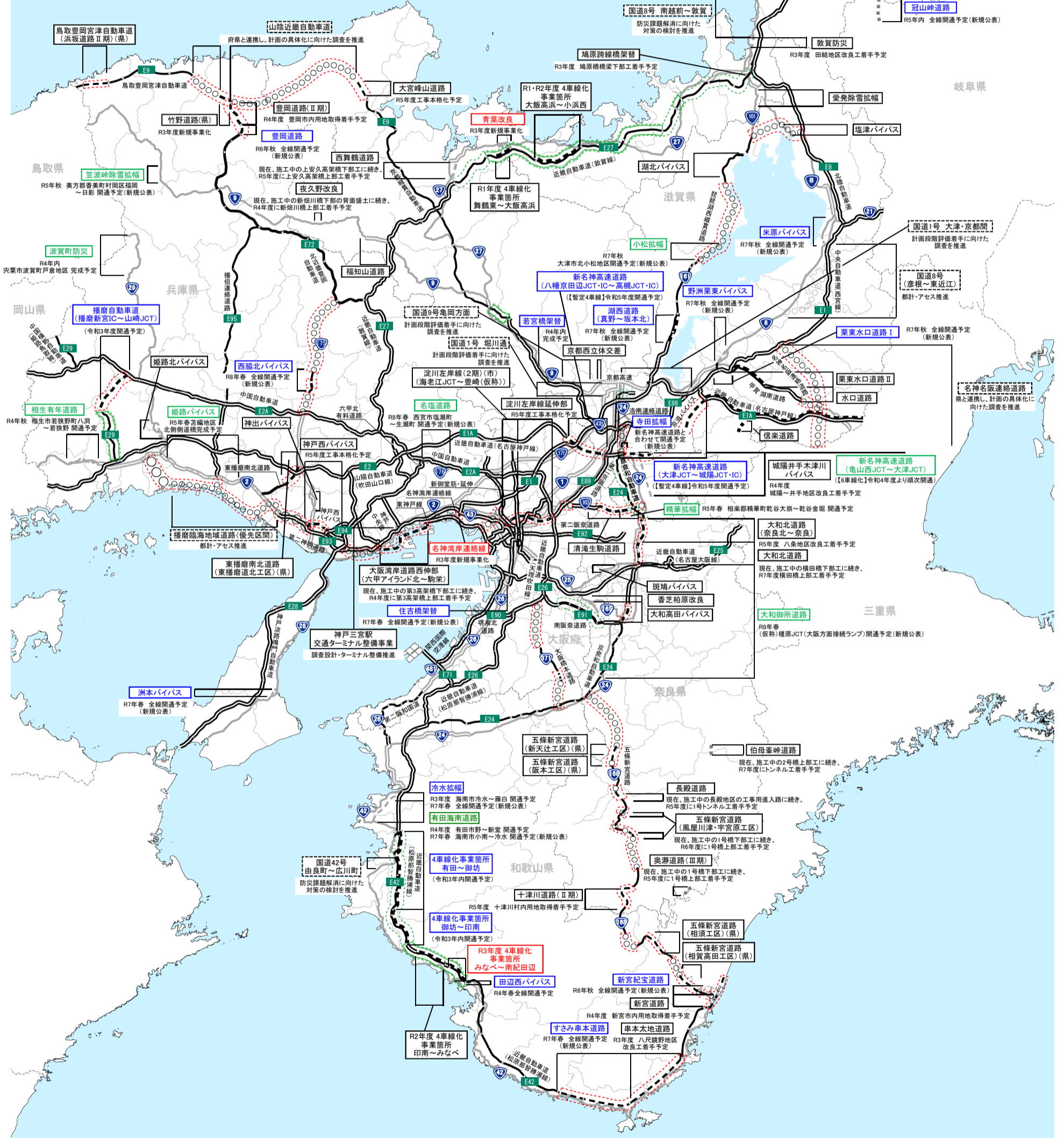
調査中箇所(交通拠点) 必要性等の調査 整備方針の検討 事業計画の検討

今後5カ年開通予定区間 今後5カ年用地着手区間 今後5カ年工事着手区間

直轄改築・高速 **全線開通** R0年度 R0年度  
事業中箇所 **部分開通** ○○地区用地着手 ○○地区工事着手  
(改良orトンネルor橋梁)

## R3年度新規事業化箇所(直轄改築・高速)

※高速会社事業や補助事業は、開通見通しのみ記載している。  
※計画段階評価や都市計画・環境アセスに着手している調査箇所については、今後5カ年程度での新規事業化に向けた調査を推進。  
※事業内容は、今後5カ年で主に実施する内容を記載している。  
※事業進捗見込み等については、今後予算状況等により変更になる場合がある。



### 主な防災上の課題箇所

ミッシングリンク	
暫定2車線[有料](うち優先整備区間)	

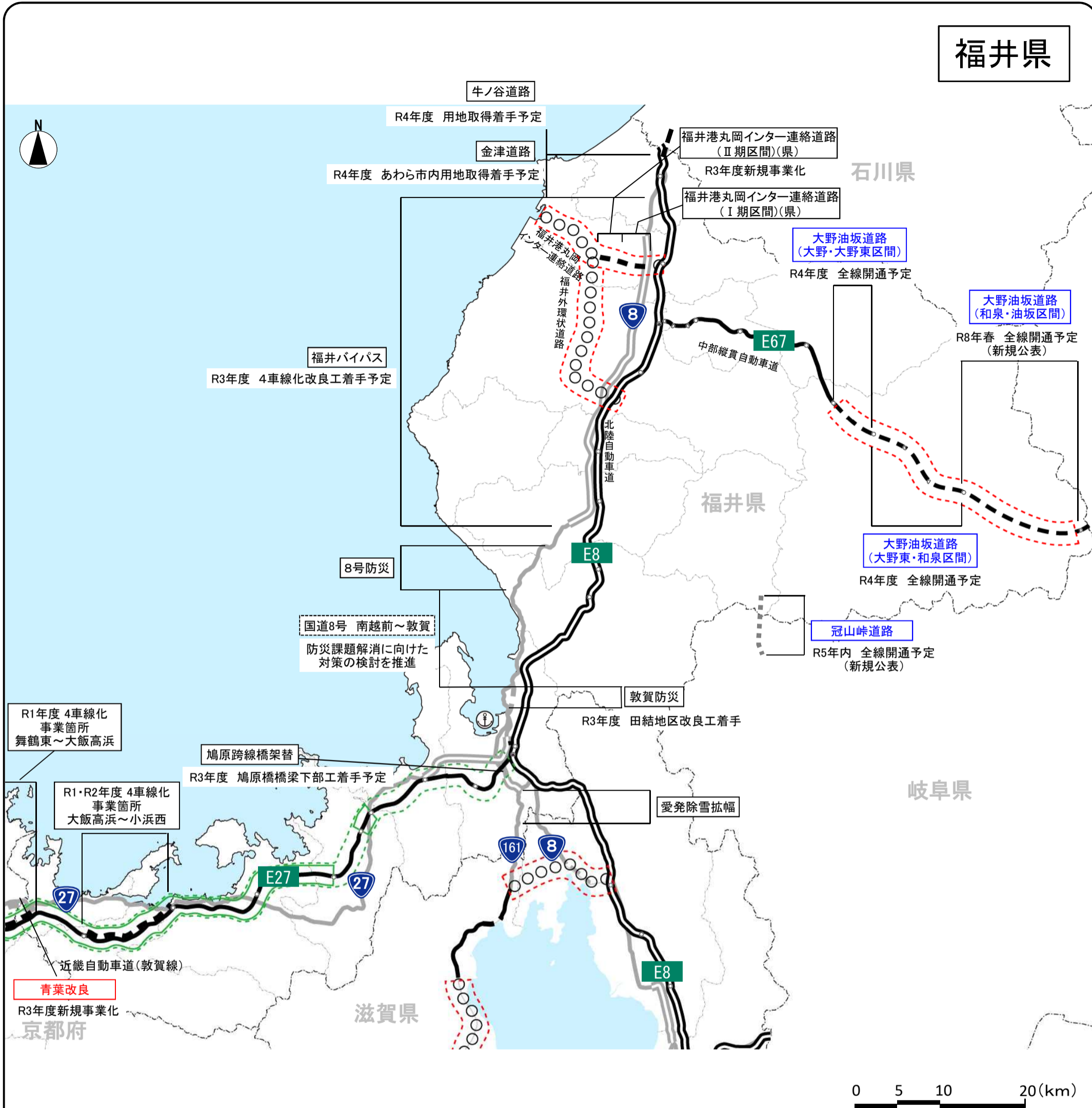
※この他、大雨や豪雨、津波・越波、地震等による防災上の課題箇所がある。

### 災害に強い国土幹線道路ネットワーク

高規格道路	4車線以上	2車線	事業中	調査中
直轄国道	4車線以上	2車線	事業中	調査中

※高規格道路については、高規格幹線道路、地域高規格道路(計画路線)、その他計画段階評価等の調査が進捗している路線等をベースに選定(R2.11時点)

## 福井県



### 災害に強い国土幹線道路ネットワーク

高規格道路	4車線以上	2車線	事業中	調査中
直轄国道	4車線以上	2車線	事業中	調査中

※高規格道路については、高規格幹線道路、地域高規格道路（計画路線）をベースに選定（R2.11時点）

### 主な防災上の課題箇所

ミッシングリンク	
暫定2車線[有料](うち優先整備区間)	

※この他、大雨や豪雨、津波・越波、地震等による防災上の課題箇所がある。

調査中箇所(ネットワーク) 道路網調査 計画段階評価推進/都計・アセス推進

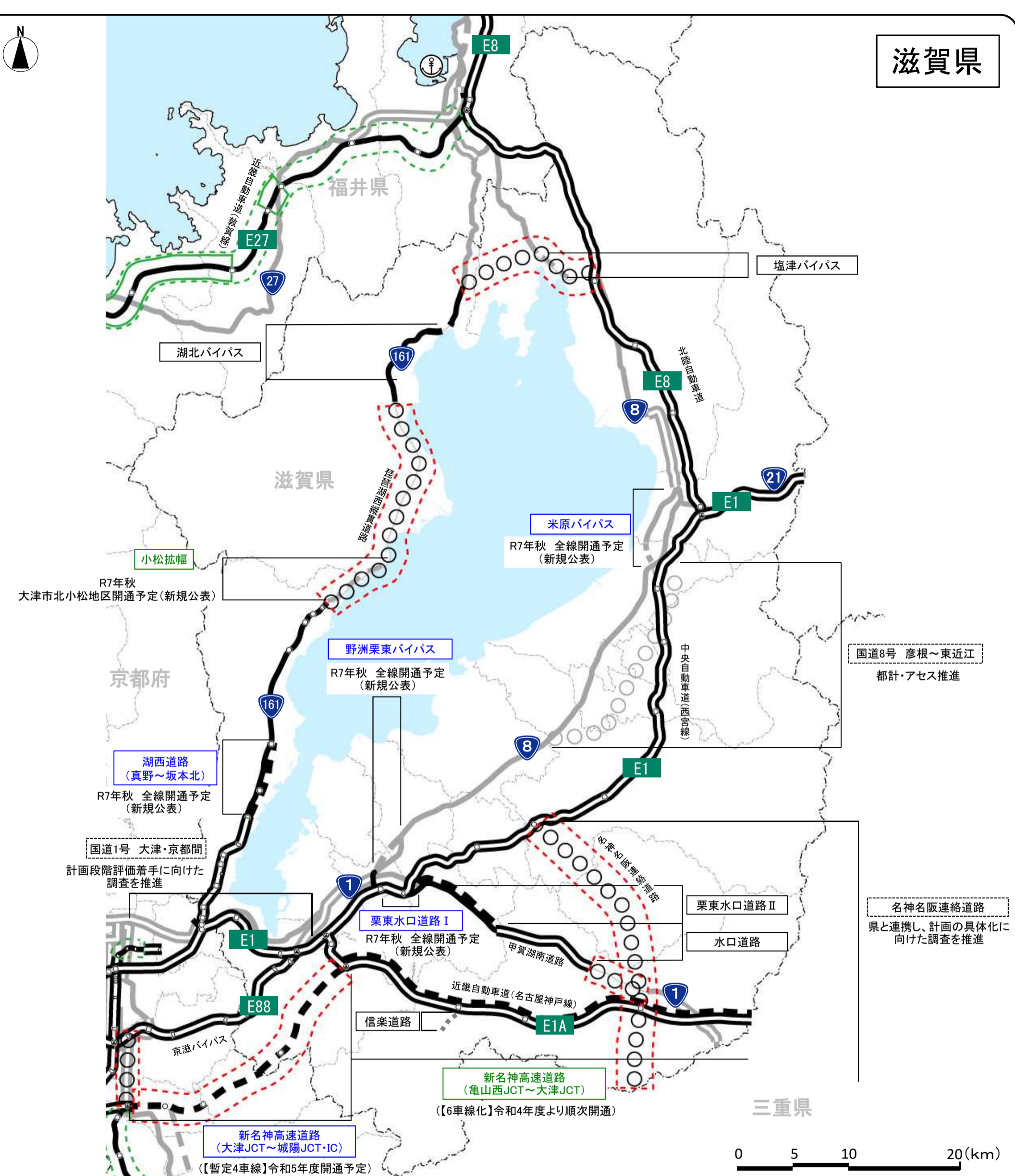
調査中箇所(交通拠点) 必要性等の調査 整備方針の検討 事業計画の検討

今後5カ年開通予定区間 今後5カ年用地着手区間 今後5カ年工事着手区間  
 直轄改築・高速事業中箇所 **全線開通** RO年度 RO年度  
 ○○地区用地着手 ○○地区○○工事着手  
 (改良orトンネルor橋梁)

### R3年度新規事業化箇所(直轄改築・高速)

※高速会社事業や補助事業は、開通見通しのみ記載している。  
 ※計画段階評価や都市計画・環境アセスに着手している調査箇所については、今後5か年程度での新規事業化に向けた調査を推進。  
 ※事業内容は、今後5か年で主に実施する内容を記載している。  
 ※事業進捗見込み等については、今後予算状況等により変更になる場合がある。

## 滋賀県



**災害に強い国土幹線道路ネットワーク**

高規格道路	4車線以上	2車線	事業中	調査中
直轄国道	4車線以上	2車線	事業中	調査中

※高規格道路については、高規格幹線道路、地域高規格道路（計画路線）をベースに選定（R2.11時点）

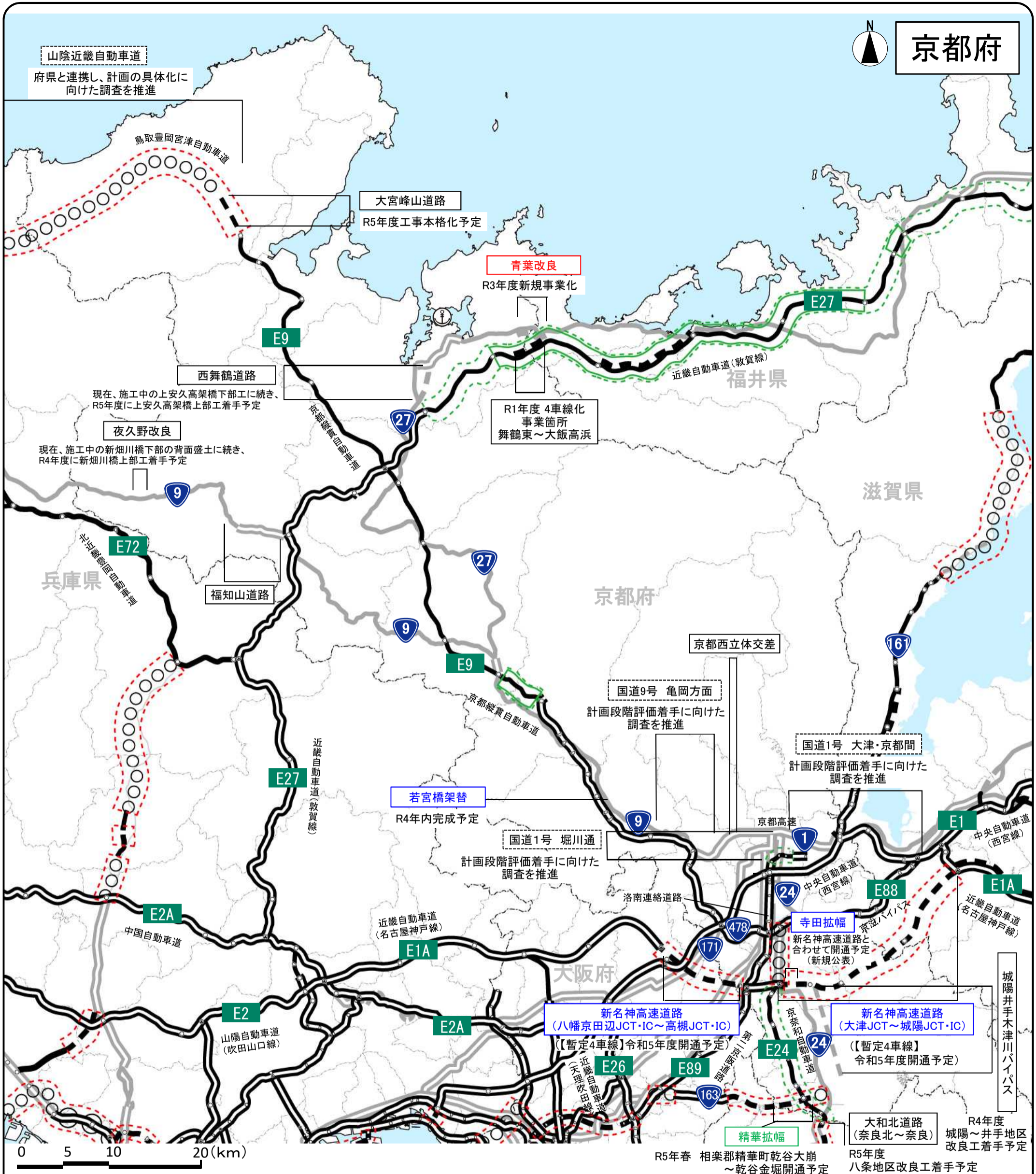
**主な防災上の課題箇所**

ミッシングリンク	調査中箇所
暫定2車線[有料]（うち優先整備区間）	優先整備区間

※この他、大雨や豪雨、津波・越波、地震等による防災上の課題箇所がある。

調査中箇所(ネットワーク)	道路網調査	計画段階評価推進/都計・アセス推進
調査中箇所(交通拠点)	必要性等の調査	整備方針の検討 事業計画の検討
直轄改築・高速事業中箇所	今後5か年開通予定区間	今後5か年用地着手区間
	今後5か年工事着手区間	
	RO年度	RO年度
	OO地区用地着手	OO地区OO工事着手 (改良orトンネルor橋梁)
<b>R3年度新規事業化箇所(直轄改築・高速)</b>		

※高速会社事業や補助事業は、開通見通しのみ記載している。  
 ※計画段階評価や都市計画・環境アセスに着手している調査箇所については、今後5か年程度での新規事業化に向けた調査を推進。  
 ※事業内容は、今後5か年で主に実施する内容を記載している。  
 ※事業進捗見込み等については、今後予算状況等により変更になる場合がある。



**災害に強い国土幹線道路ネットワーク**

高規格道路	4車線以上	2車線	事業中	調査中
直轄国道	4車線以上	2車線	事業中	調査中

※高規格道路については、高規格幹線道路、地域高規格道路（計画路線）をベースに選定（R2.11時点）

**主な防災上の課題箇所**

ミッシングリンク	
暫定2車線[有料](うち優先整備区間)	優先整備区間

※この他、大雨や豪雨、津波・越波、地震等による防災上の課題箇所がある。

調査中箇所(ネットワーク)	道路網調査	計画段階評価推進/都計・アセス推進
調査中箇所(交通拠点)	必要性等の調査	整備方針の検討 事業計画の検討

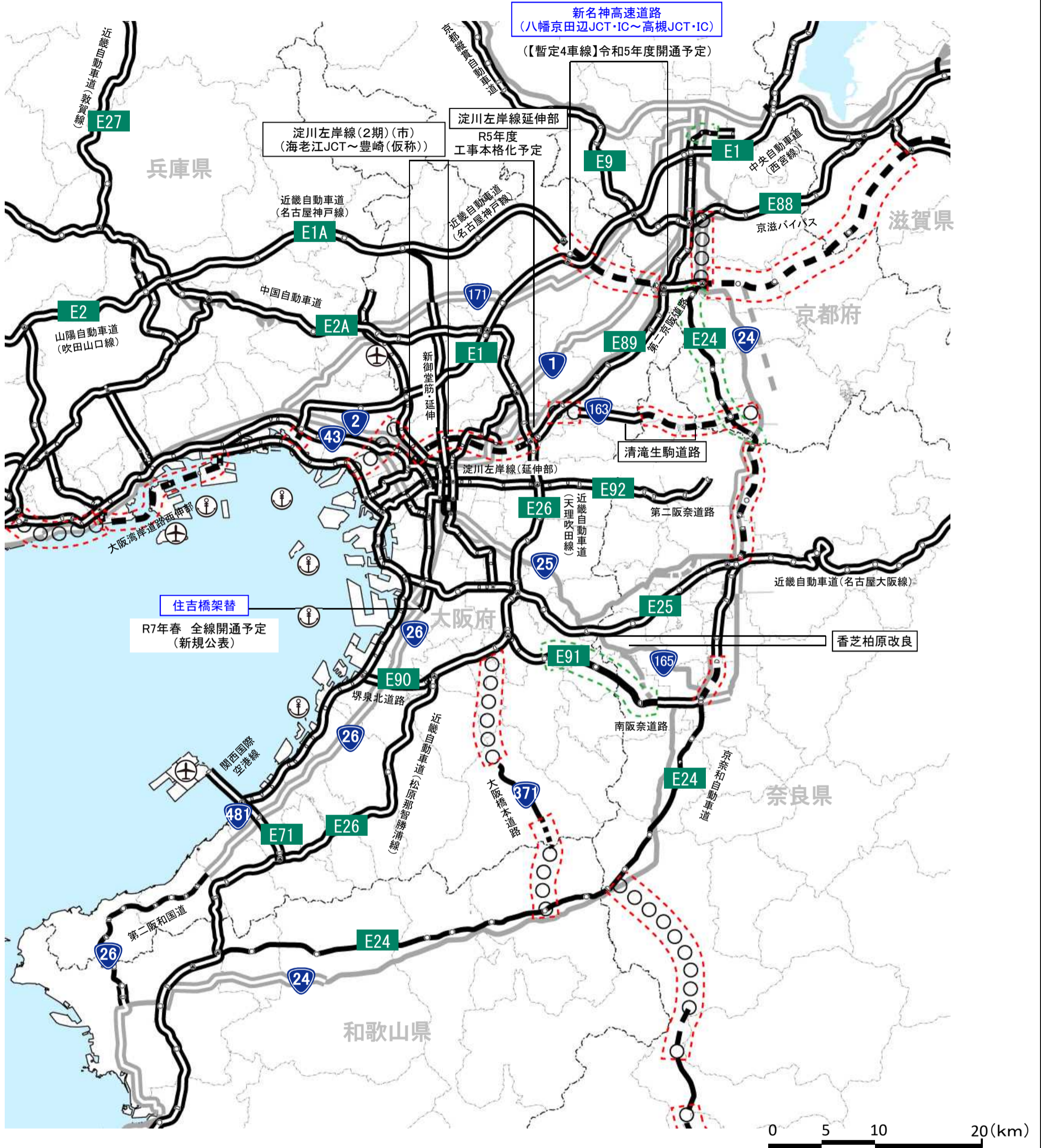
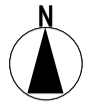
  

直轄改築・高速事業中箇所	今後5カ年開通予定区間	今後5カ年用地着手区間	今後5カ年工事着手区間
	全線開通	RO年度	RO年度
	部分開通	OO地区用地着手	OO地区OO工事着手(改良orトンネルor橋梁)

**R3年度新規事業化箇所(直轄改築・高速)**

※高速会社事業や補助事業は、開通見通しのみ記載している。  
 ※計画段階評価や都市計画・環境アセスに着手している調査箇所については、今後5カ年程度での新規事業化に向けた調査を推進。  
 ※事業内容は、今後5カ年で主に実施する内容を記載している。  
 ※事業進捗見込み等については、今後予算状況等により変更になる場合がある。

## 大阪府



0 5 10 20(km)

### 災害に強い国土幹線道路ネットワーク

高規格道路	4車線以上	2車線	事業中	調査中
直轄国道	4車線以上	2車線	事業中	調査中

※高規格道路については、高規格幹線道路、地域高規格道路（計画路線）をベースに選定（R2.11時点）

### 主な防災上の課題箇所

ミッシングリンク	
暫定2車線[有料](うち優先整備区間)	

※この他、大雨や豪雨、津波・越波、地震等による防災上の課題箇所がある。

調査中箇所(ネットワーク) 道路網調査 計画段階評価推進/都計・アセス推進

調査中箇所(交通拠点) 必要性等の調査 整備方針の検討 事業計画の検討

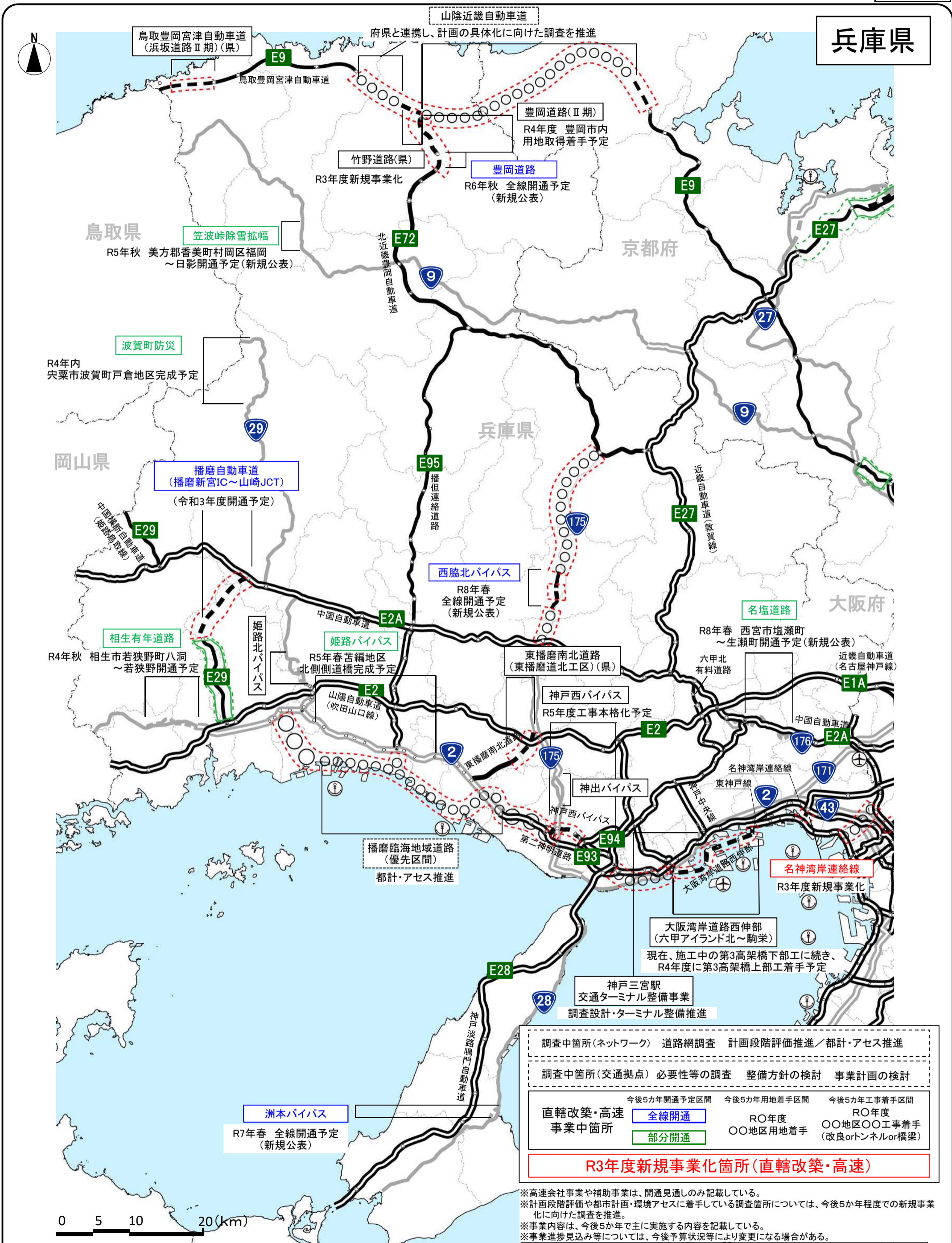
今後5カ年開通予定区間 今後5カ年用地着手区間 今後5カ年工事着手区間

直轄改築・高速 事業中箇所 **全線開通** RO年度 RO年度  
 地区用地着手 地区工事着手  
 (改良orトンネルor橋梁)

### R3年度新規事業化箇所(直轄改築・高速)

※高速会社事業や補助事業は、開通見通しのみ記載している。  
 ※計画段階評価や都市計画・環境アセスに着手している調査箇所については、今後5カ年程度での新規事業化に向けた調査を推進。  
 ※事業内容は、今後5か年で主に実施する内容を記載している。  
 ※事業進捗見込み等については、今後予算状況等により変更になる場合がある。





調査中箇所(ネットワーク) 道路網調査 計画段階評価推進/都計・アセス推進

調査中箇所(交通拠点) 必要性等の調査 整備方針の検討 事業計画の検討

直轄改築・高速事業中箇所	今後5カ年開通予定区間 <b>全線開通</b>	今後5カ年用地着手区間 ○地区用地着手	今後5カ年工事着手区間 ○地区○工事着手 (改良ortンネルor橋梁)
	部分開通		

**R3年度新規事業化箇所(直轄改築・高速)**

※高速会社事業や補助事業は、開通見通しのみ記載している。  
 ※計画段階評価や都市計画・環境アセスに着手している調査箇所については、今後5か年程度での新規事業化に向けた調査を推進。  
 ※事業内容は、今後5か年で主に実施する内容を記載している。  
 ※事業進捗見込み等については、今後予算状況等により変更になる場合がある。

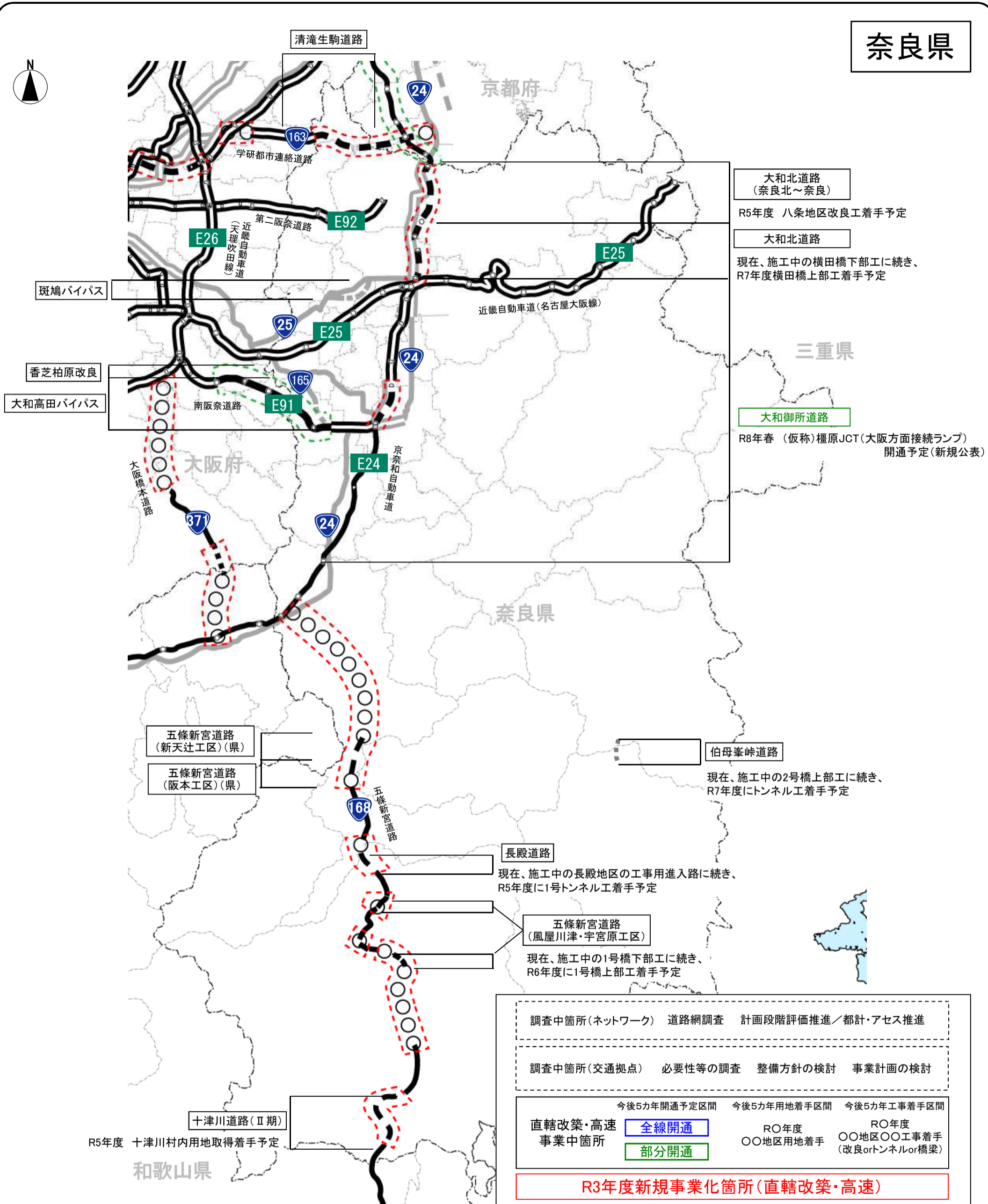
主な防災上の課題箇所	
ミッシングリンク	
暫定2車線 [有料] (うち優先整備区間)	

※この他、高規格道路の事前通行規制区間等の課題がある

災害に強い国土幹線道路ネットワーク			
高規格道路	4車線以上	2車線	事業中 ○○○○
	直轄国道	4車線以上	2車線 事業中 ○○○○

※高規格道路については、高規格幹線道路、地域高規格道路(計画路線)、その他計画段階評価等の調査が進捗している路線等をベースに選定。(R2.11時点)

## 奈良県



**大和北道路 (奈良北~奈良)**  
R5年度 八条地区改良工着手予定

**大和北道路**  
現在、施工中の横田橋下部工に続き、R7年度横田橋上部工着手予定

**大和御所道路**  
R8年春 (仮称) 樫原JCT(大阪方面接続ランプ) 開通予定(新規公表)

**伯母峯峠道路**  
現在、施工中の2号橋上部工に続き、R7年度にトンネル工着手予定

**長殿道路**  
現在、施工中の長殿地区の工事用進入路に続き、R5年度に1号トンネル工着手予定

**五條新宮道路 (風屋川津・宇宮原工区)**  
現在、施工中の1号橋下部工に続き、R6年度に1号橋上部工着手予定

調査中箇所(ネットワーク)	道路網調査	計画段階評価推進/都計・アセス推進
調査中箇所(交通拠点)	必要性等の調査	整備方針の検討 事業計画の検討
直轄改築・高速事業中箇所	今後5カ年開通予定区間	今後5カ年用地着手区間
	今後5カ年工事着手区間	
	RO年度	RO年度
	OO地区用地着手	OO地区OO工事着手(改良orトンネルor橋梁)

**R3年度新規事業化箇所(直轄改築・高速)**

**十津川道路(II期)**  
R5年度 十津川村内用地取得着手予定

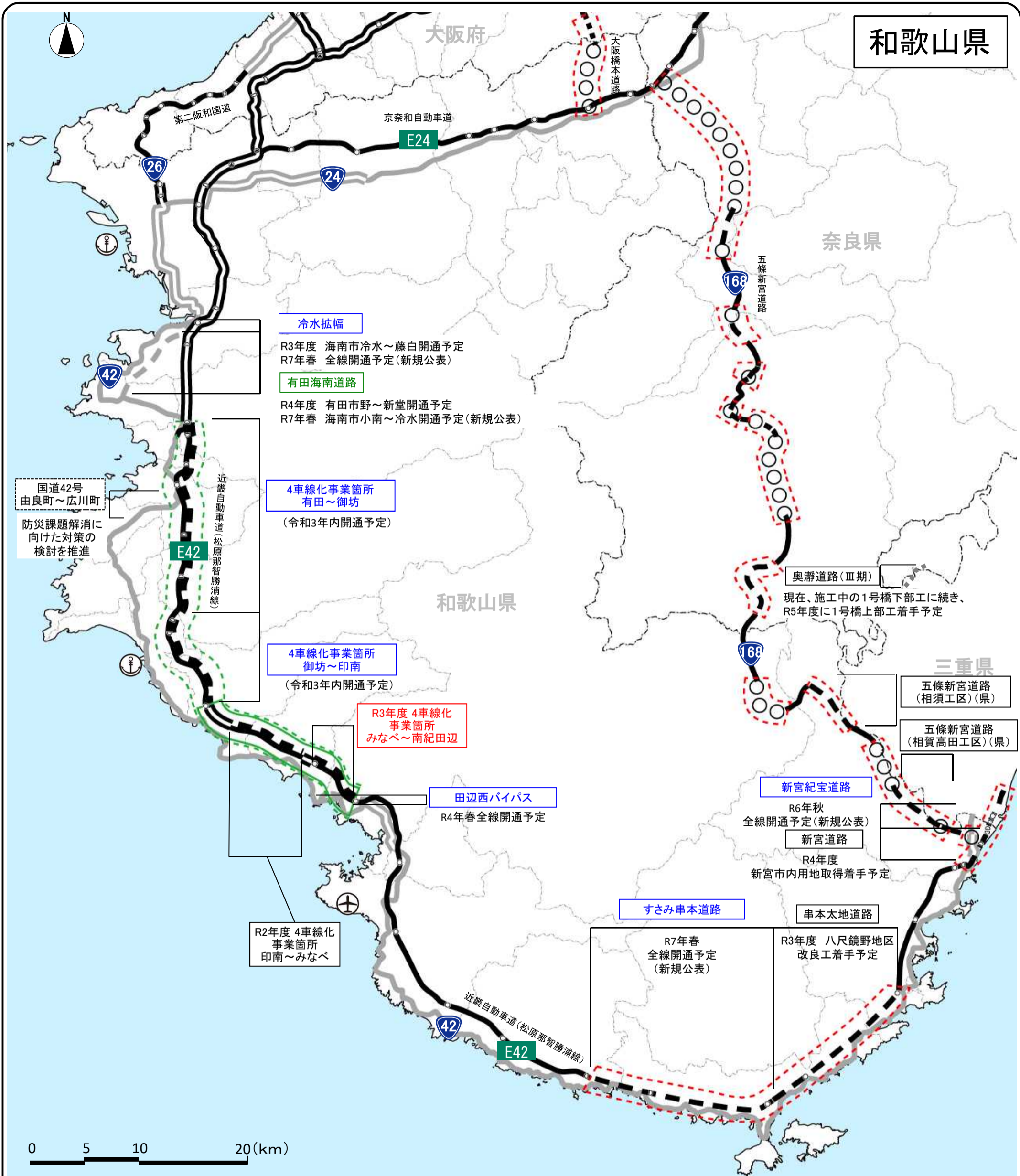
0 5 10 20(km)

主な防災上の課題箇所	
ミッシングリンク	
暫定2車線[有料](うち優先整備区間)	優先整備区間

※この他、大雨や豪雨、津波・越波、地震等による防災上の課題箇所がある。

災害に強い国土幹線道路ネットワーク			
高規格道路	4車線以上	2車線	事業中 ○○調査中
直轄国道	4車線以上	2車線	事業中 ○○調査中

※高規格道路については、高規格幹線道路、地域高規格道路(計画路線)をベースに選定(R2.11時点)



災害に強い国土幹線道路ネットワーク			
高規格道路	4車線以上	2車線	事業中 ○○○○
直轄国道	4車線以上	2車線	事業中 ○○○○

※高規格道路については、高規格幹線道路、地域高規格道路（計画路線）をベースに選定（R2.11時点）

主な防災上の課題箇所	
ミッシングリンク	<span style="border: 1px dashed red; padding: 2px;"> </span>
暫定2車線[有料](うち優先整備区間)	<span style="border: 1px dashed green; padding: 2px;"> </span>

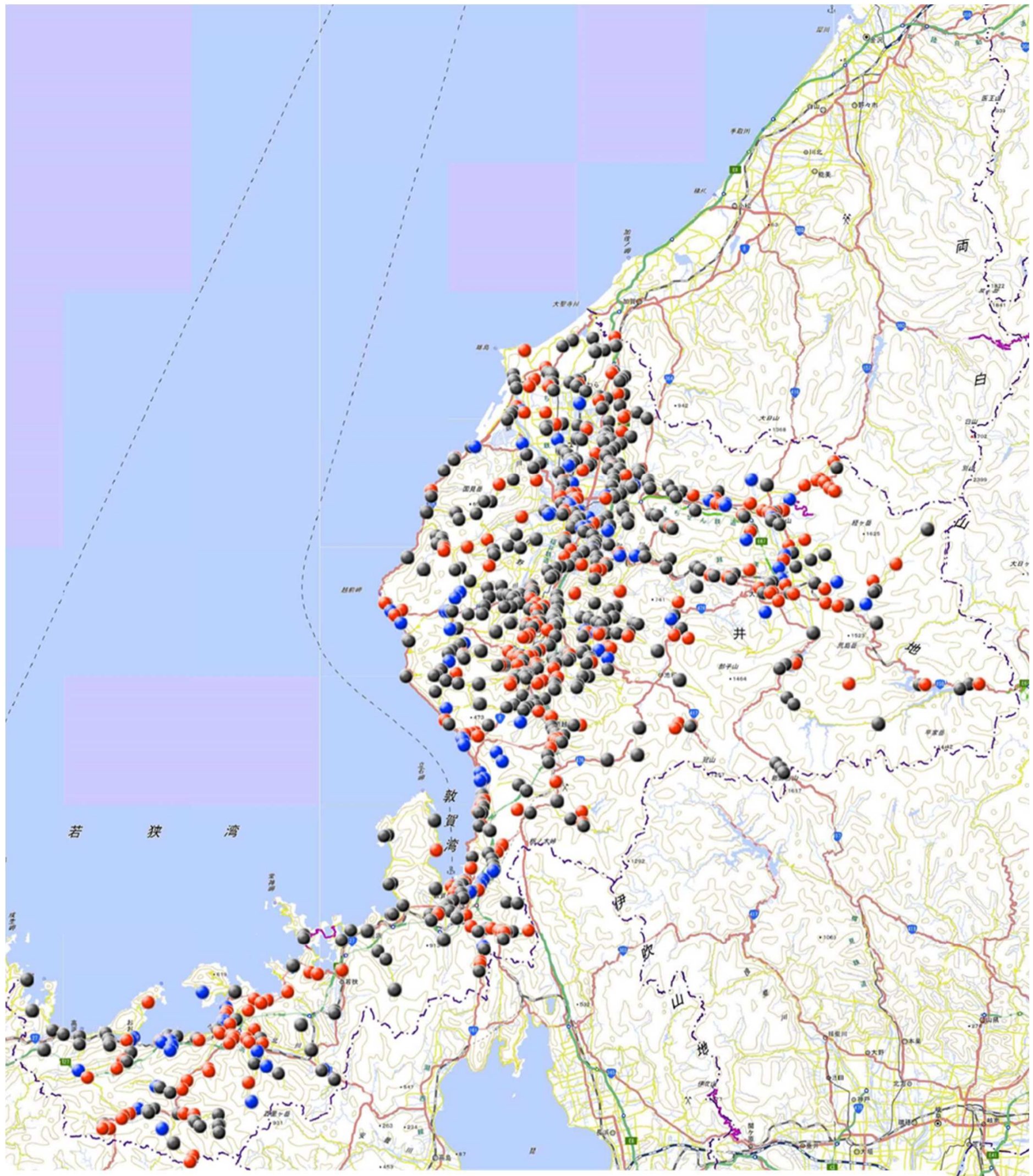
※この他、大雨や豪雨、津波・越波、地震等による防災上の課題箇所がある。

調査中箇所(ネットワーク)	道路網調査	計画段階評価推進/都計・アセス推進
調査中箇所(交通拠点)	必要性等の調査	整備方針の検討 事業計画の検討
直轄改築・高速事業中箇所	今後5カ年開通予定区間 <span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;"> </span>	今後5カ年用地着手区間 ○○地区用地着手
	今後5カ年工事着手区間 ○○地区工事着手(改良orトンネルor橋梁)	
<b>R3年度新規事業化箇所(直轄改築・高速)</b>		

※高速会社事業や補助事業は、開通見通しのみ記載している。  
 ※計画段階評価や都市計画・環境アセスに着手している調査箇所については、今後5カ年程度での新規事業化に向けた調査を推進。  
 ※事業内容は、今後5カ年で主に実施する内容を記載している。  
 ※事業進捗見込み等については、今後予算状況等により変更になる場合がある。

# 福井県内の判定区分Ⅲ・Ⅳ橋梁の位置図

早期に対策を要する施設は931橋あり、これまでに674橋の修繕に着手済み



### 凡例

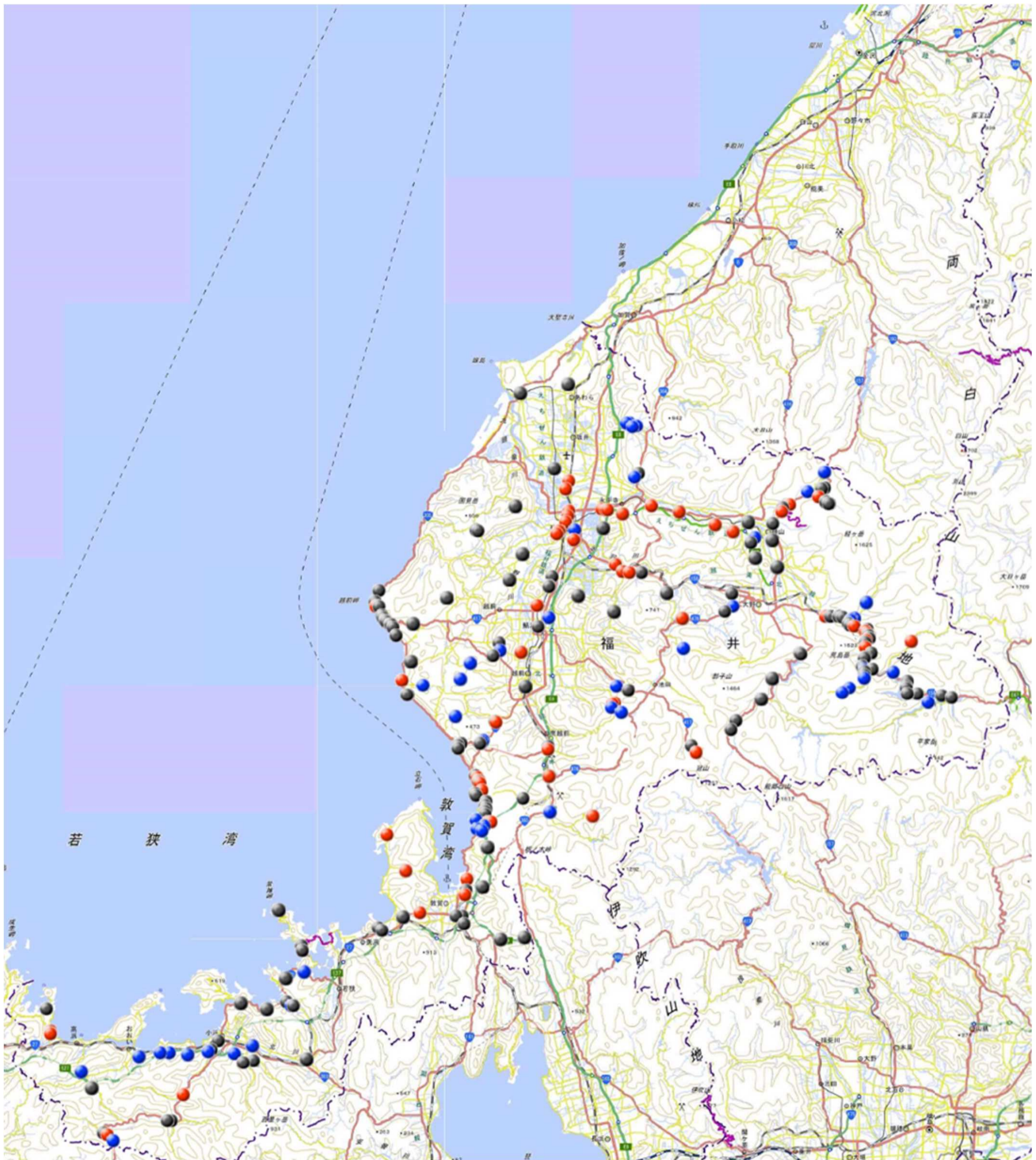
- 高速道路: —
- 一般国道: —
- 都道府県道: —

- 措置未着手: ● (red)
- 措置着手済: ● (blue)
- 措置完了済: ● (black)

※全道路管理者(国、高速道路会社、地方公共団体)の管理する施設のうち、2014年度から2020年度までの点検において判定区分Ⅲ・Ⅳと診断された施設を対象に速報値として記載(2020年度に点検した施設のうち、2021年2月末時点で判定区分が未定の施設は記載していない。また、措置着手済・完了済には2021年3月末の見込みで記載している。)

# 福井県内の判定区分Ⅲ・Ⅳ トンネル・道路附属物等の位置図

早期に対策を要する施設は259施設あり、これまでに195施設の修繕に着手済み



凡例

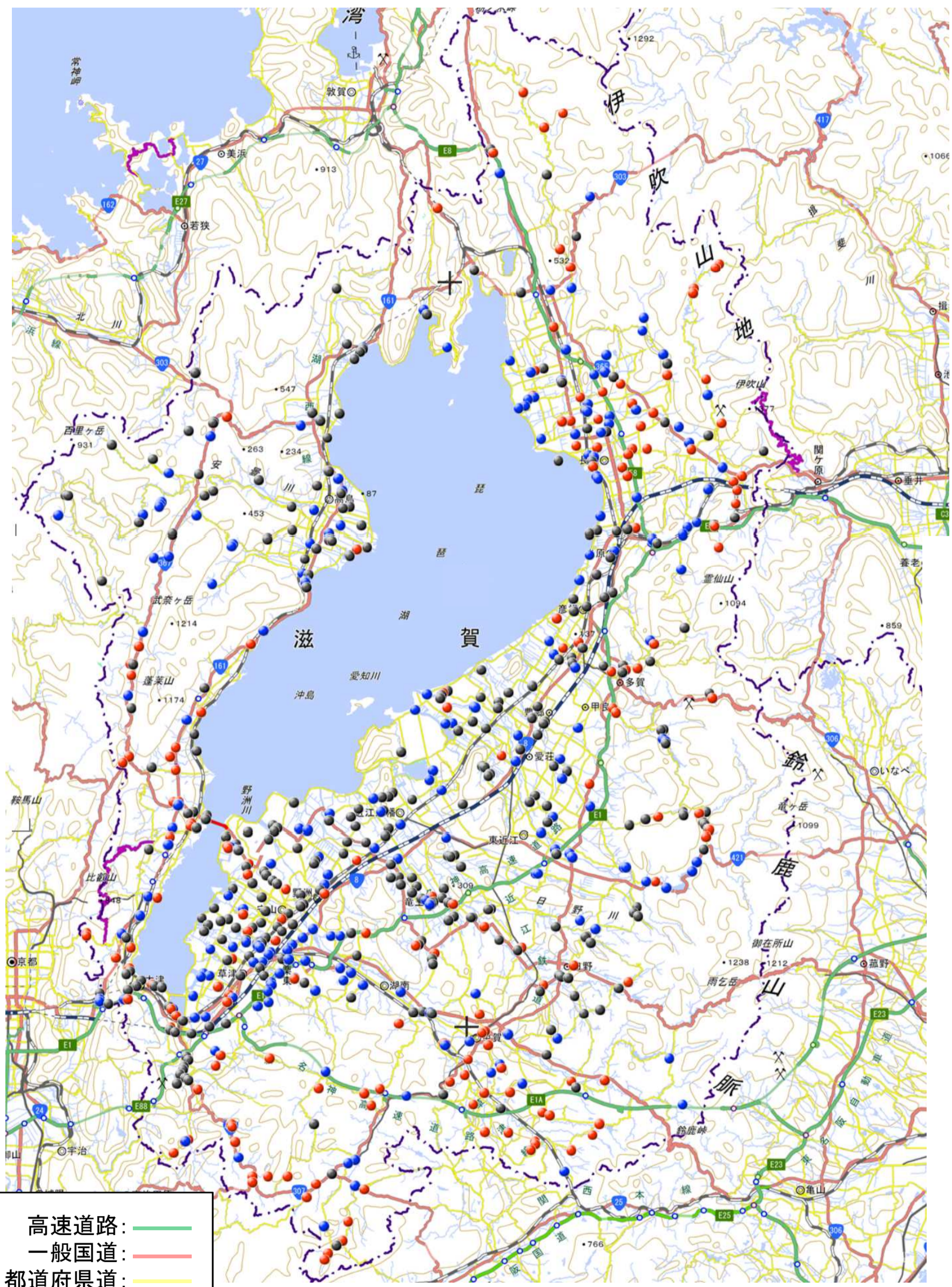
- 高速道路: —
- 一般国道: —
- 都道府県道: —

- 措置未着手: ● (red)
- 措置着手済: ● (blue)
- 措置完了済: ● (black)

※全道路管理者(国、高速道路会社、地方公共団体)の管理する施設のうち、2014年度から2020年度までの点検において判定区分Ⅲ・Ⅳと診断された施設を対象に速報値として記載(2020年度に点検した施設のうち、2021年2月末時点で判定区分が未定の施設は記載していない。また、措置着手済・完了済には2021年3月末の見込みで記載している。)

# 滋賀県内の判定区分Ⅲ・Ⅳ橋梁の位置図

早期に対策を要する施設は789橋あり、これまでに596橋の修繕に着手済み



**凡例**

- 高速道路: —
- 一般国道: —
- 都道府県道: —

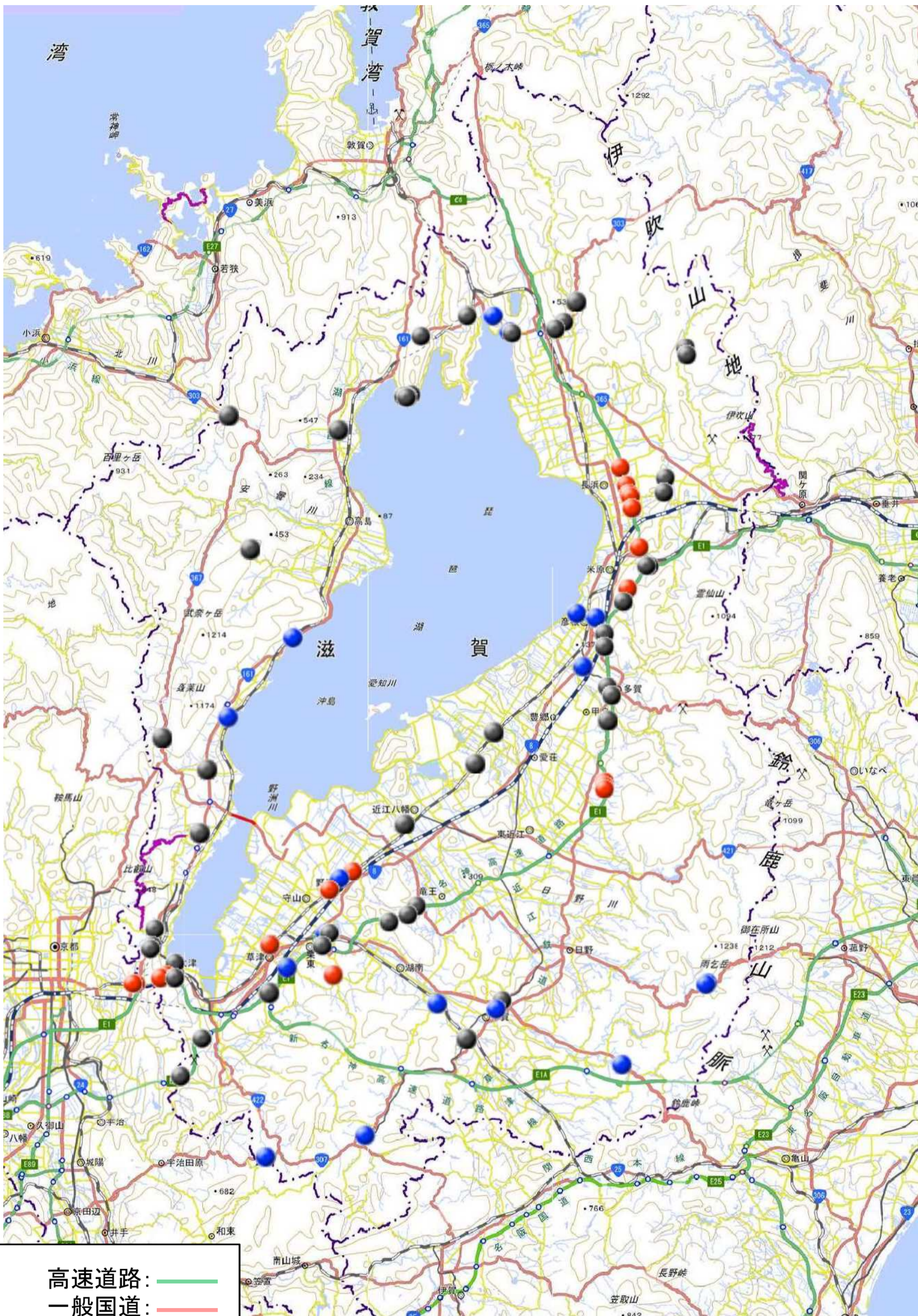
---

- 措置未着手: ● (Red)
- 措置着手済: ● (Blue)
- 措置完了済: ● (Black)

※全道路管理者(国、高速道路会社、地方公共団体)の管理する施設のうち、2014年度から2020年度までの点検において判定区分Ⅲ・Ⅳと診断された施設を対象に速報値として記載(2020年度に点検した施設のうち、2021年2月末時点で判定区分が未定の施設は記載していない。また、措置着手済・完了済には2021年3月末の見込みで記載している。)

# 滋賀県内の判定区分Ⅲ・Ⅳトンネル他付属物の位置図

早期に対策を要する施設は88施設あり、これまでに70施設の修繕に着手済み



### 凡例

- 高速道路: —
- 一般国道: —
- 都道府県道: —

- 措置未着手: ● (red)
- 措置着手済: ● (blue)
- 措置完了済: ● (black)

※全道路管理者(国、高速道路会社、地方公共団体)の管理する施設のうち、2014年度から2020年度までの点検において判定区分Ⅲ・Ⅳと診断された施設を対象に速報値として記載(2020年度に点検した施設のうち、2021年2月末時点で判定区分が未定の施設は記載していない。また、措置着手済・完了済には2021年3月末の見込みで記載している。)

# 京都府内の判定区分Ⅲ・Ⅳ桥梁の位置図

早期に対策を要する施設は951橋あり、これまでに516橋の修繕に着手済み



### 凡例

- 高速道路: —
- 一般国道: —
- 都道府県道: —

- 措置未着手: ● (red)
- 措置着手済: ● (blue)
- 措置完了済: ● (black)

※全道路管理者(国、高速道路会社、地方公共団体)の管理する施設のうち、2014年度から2020年度までの点検において判定区分Ⅲ・Ⅳと診断された施設を対象に速報値として記載(2020年度に点検した施設のうち、2021年2月末時点で判定区分が未定の施設は記載していない。また、措置着手済・完了済には2021年3月末の見込みで記載している。)



# 京都府内の判定区分Ⅲ・Ⅳ トンネル・道路附属物等の位置図

早期に対策を要する施設は131施設あり、これまでに116施設の修繕に着手済み



凡例

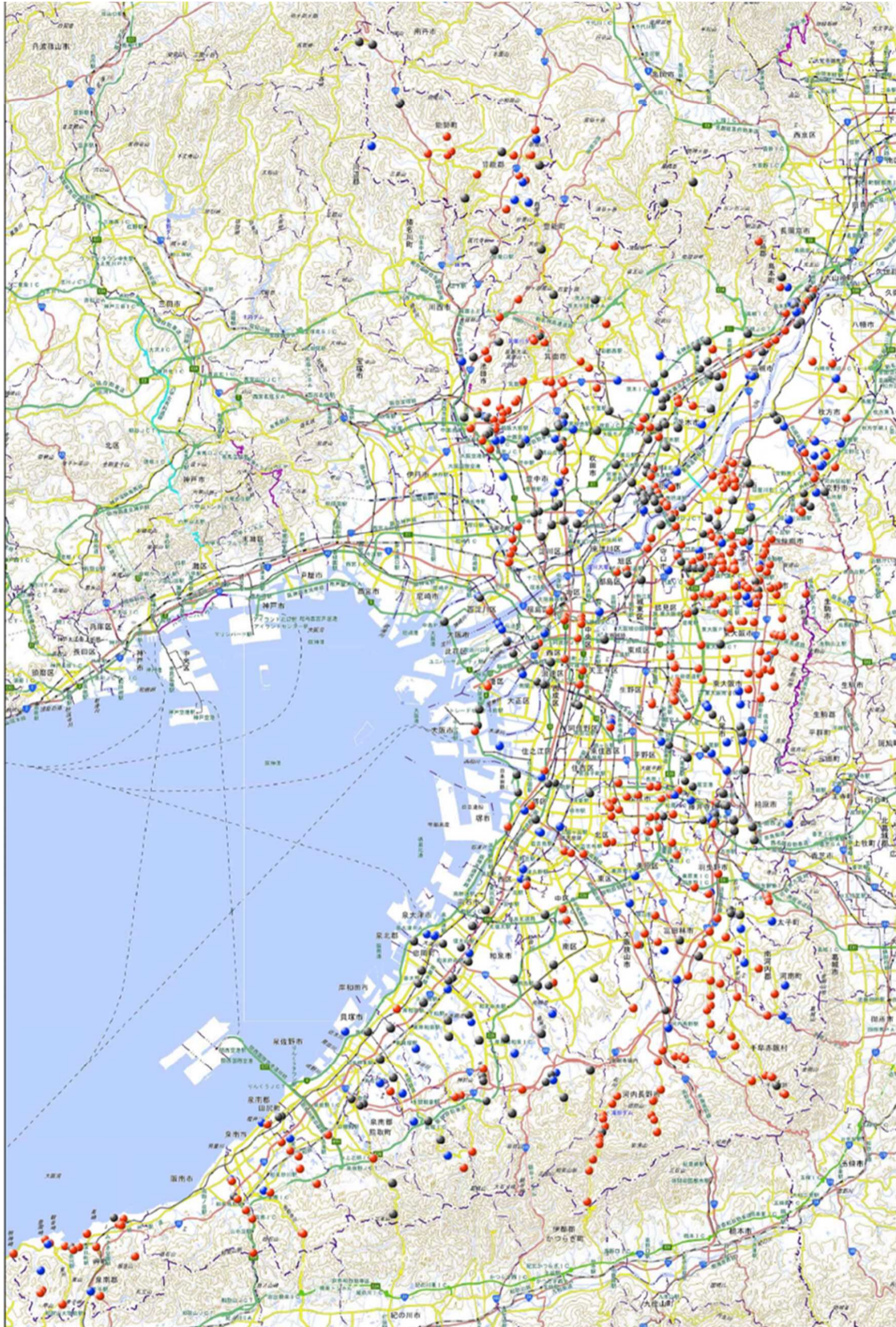
- 高速道路: —
- 一般国道: —
- 都道府県道: —

- 措置未着手: ● (red)
- 措置着手済: ● (blue)
- 措置完了済: ● (black)

※全道路管理者(国、高速道路会社、地方公共団体)の管理する施設のうち、2014年度から2020年度までの点検において判定区分Ⅲ・Ⅳと診断された施設を対象に速報値として記載(2020年度に点検した施設のうち、2021年2月末時点で判定区分が未定の施設は記載していない。また、措置着手済・完了済には2021年3月末の見込みで記載している。)

# 大阪府内の判定区分Ⅲ・Ⅳ桥梁の位置図

早期に対策を要する施設は812橋あり、これまでに403橋の修繕に着手済み



凡例

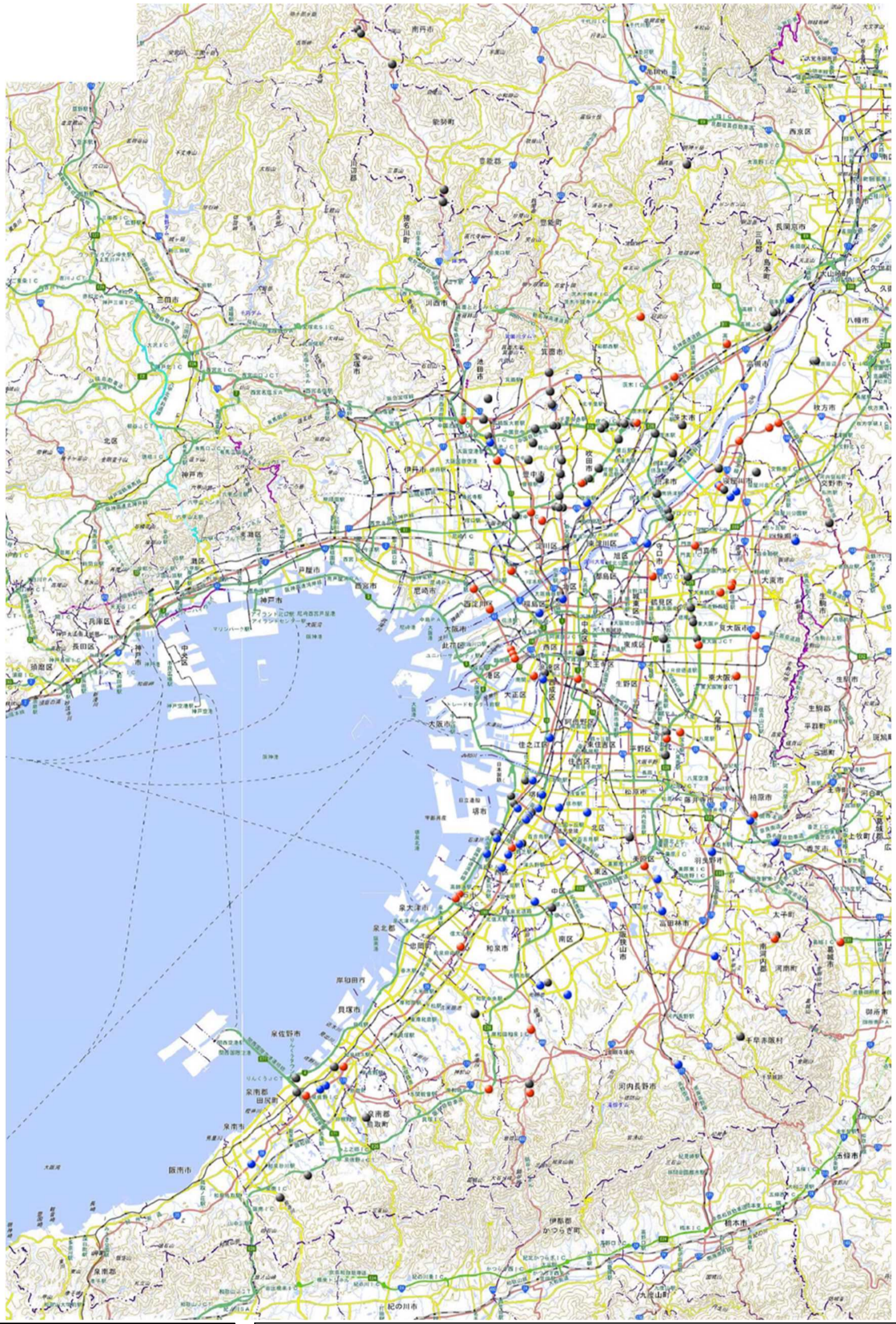
高速道路: —  
 一般国道: —  
 都道府県道: —

措置未着手: ● (red)  
 措置着手済: ● (blue)  
 措置完了済: ● (black)

※全道路管理者(国、高速道路会社、地方公共団体)の管理する施設のうち、2014年度から2020年度までの点検において判定区分Ⅲ・Ⅳと診断された施設を対象に速報値として記載(2020年度に点検した施設のうち、2021年2月末時点で判定区分が未定の施設は記載していない。また、措置着手済・完了済には2021年3月末の見込みで記載している。)

# 大阪府内の判定区分Ⅲ・Ⅳ トンネル・道路附属物等の位置図

早期に対策を要する施設は175施設あり、これまでに130施設の修繕に着手済み



**凡例**

- 高速道路: —
- 一般国道: —
- 都道府県道: —

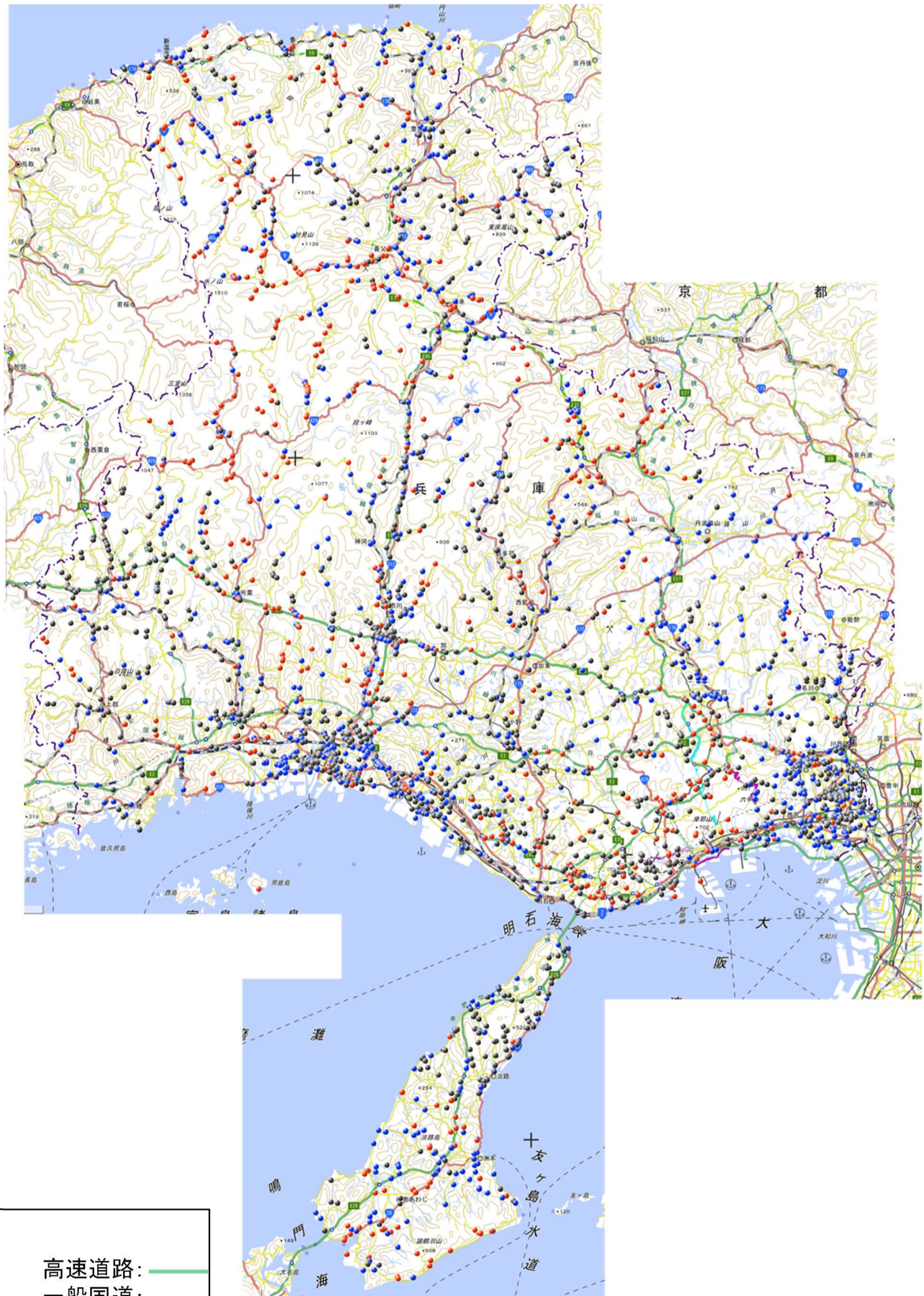
---

- 措置未着手: ●
- 措置着手済: ●
- 措置完了済: ●

※全道路管理者(国、高速道路会社、地方公共団体)の管理する施設のうち、2014年度から2020年度までの点検において判定区分Ⅲ・Ⅳと診断された施設を対象に速報値として記載(2020年度に点検した施設のうち、2021年2月末時点で判定区分が未定の施設は記載していない。また、措置着手済・完了済には2021年3月末の見込みで記載している。)

# 兵庫県内の判定区分Ⅲ・Ⅳ桥梁の位置図

早期に対策を要する施設は2,940橋あり、これまでに2,335橋の修繕に着手済み



※全道路管理者(国、高速道路会社、地方公共団体)の管理する施設のうち、2014年度から2020年度までの点検において判定区分Ⅲ・Ⅳと診断された施設を対象に速報値として記載(2020年度に点検した施設のうち、2021年2月末時点で判定区分が未定の施設は記載していない。また、措置着手済・完了済には2021年3月末の見込みで記載している。)

# 兵庫県内の判定区分Ⅲ・Ⅳトンネル他附属物の位置図

早期に対策を要する施設は402施設あり、これまでに310施設の修繕に着手済み



**凡例**

- 高速道路: —
- 一般国道: —
- 都道府県道: —

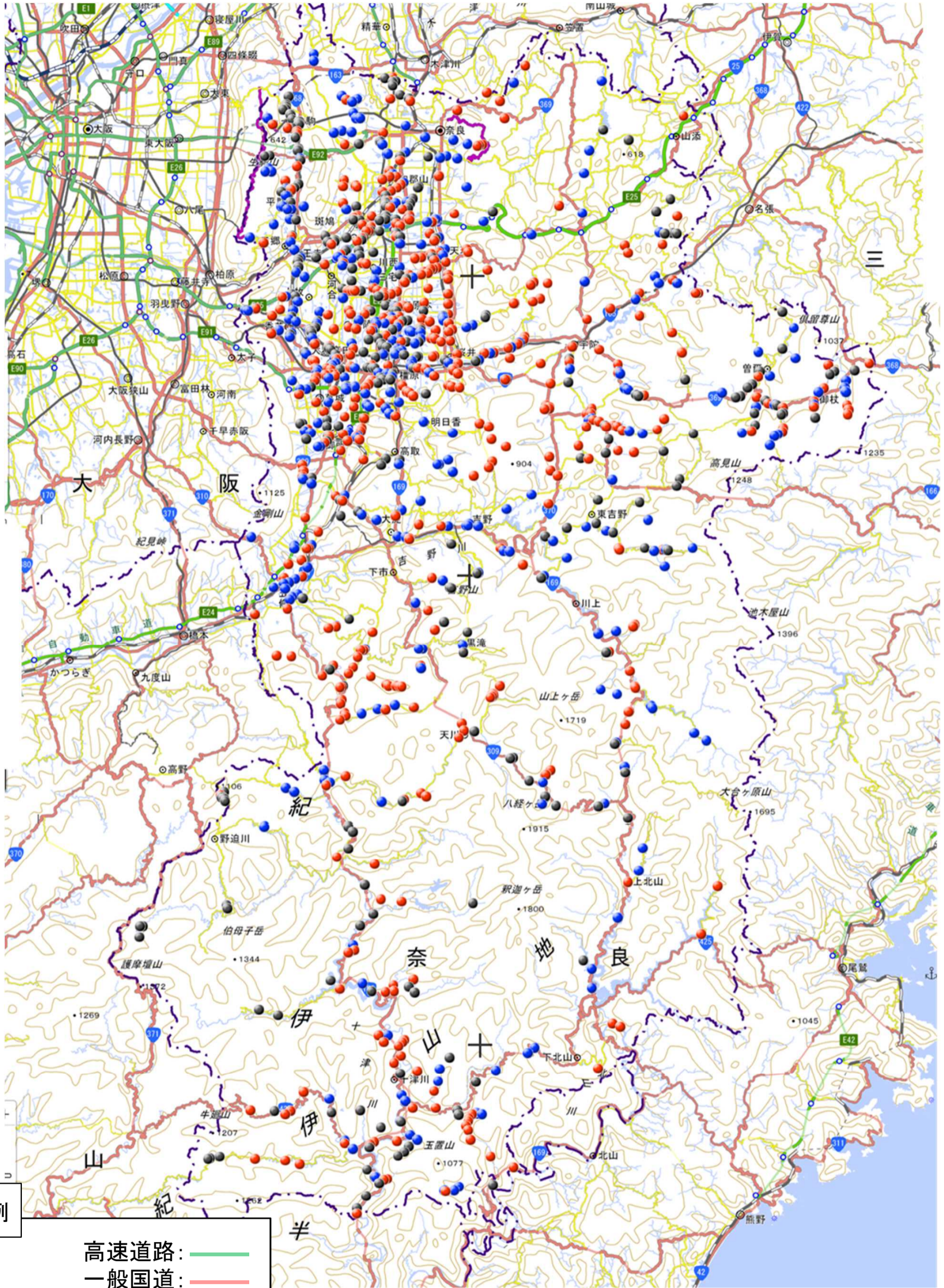
---

- 措置未着手: ●
- 措置着手済: ●
- 措置完了済: ●

※全道路管理者(国、高速道路会社、地方公共団体)の管理する施設のうち、2014年度から2020年度までの点検において判定区分Ⅲ・Ⅳと診断された施設を対象に速報値として記載(2020年度に点検した施設のうち、2021年2月末時点で判定区分が未定の施設は記載していない。また、措置着手済・完了済には2021年3月末の見込みで記載している。)

# 奈良県内の判定区分Ⅲ・Ⅳ橋梁の位置図

早期に対策を要する施設は1,069橋あり、これまでに620橋の修繕に着手済み



### 凡例

- 高速道路: —
- 一般国道: —
- 都道府県道: —

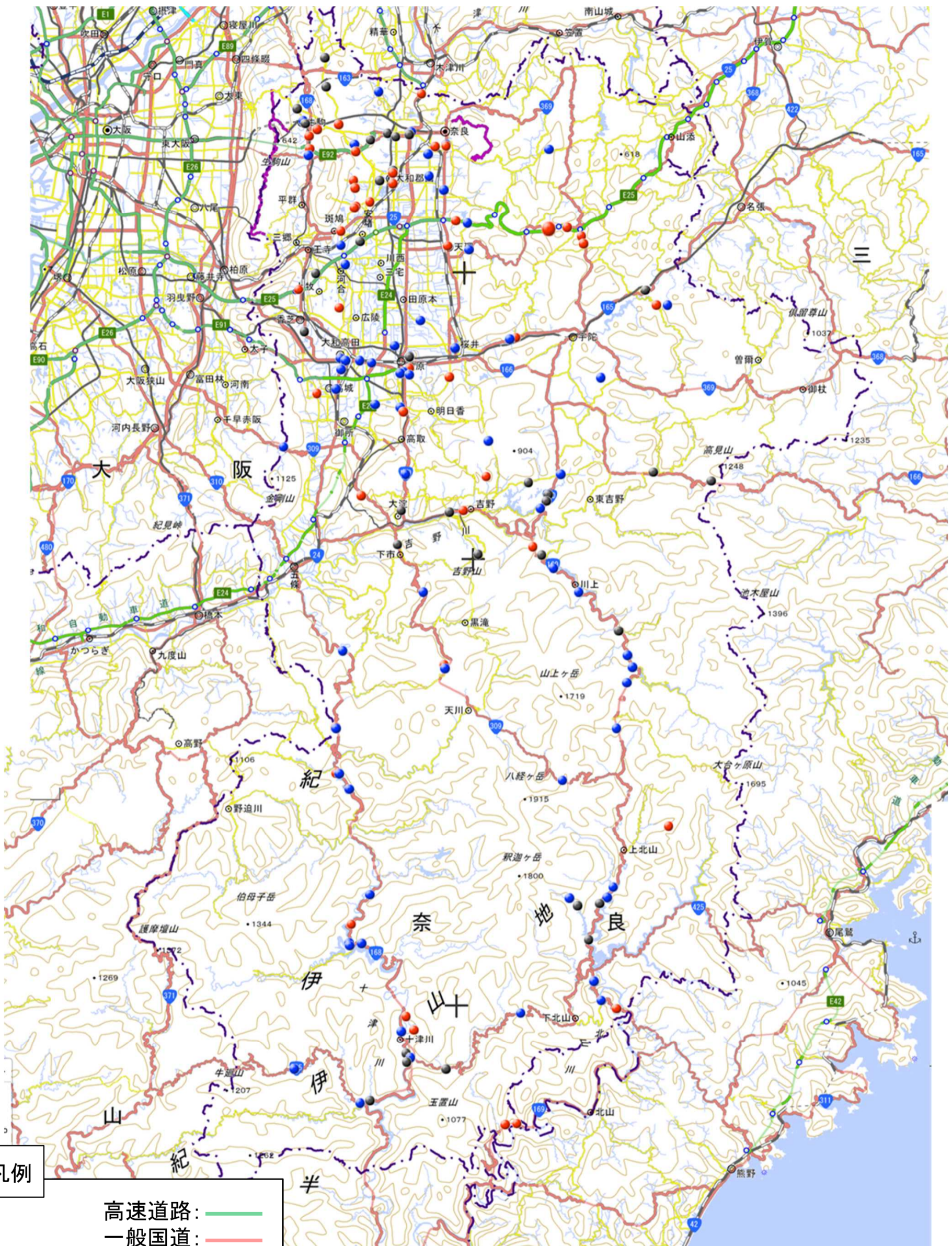
---

- 措置未着手: ● (Red)
- 措置着手済: ● (Blue)
- 措置完了済: ● (Black)

※全道路管理者(国、高速道路会社、地方公共団体)の管理する施設のうち、2014年度から2020年度までの点検において判定区分Ⅲ・Ⅳと診断された施設を対象に速報値として記載(2020年度に点検した施設のうち、2021年2月末時点で判定区分が未定の施設は記載していない。また、措置着手済・完了済には2021年3月末の見込みで記載している。)

# 奈良県内の判定区分Ⅲ・Ⅳ トンネル・道路附属物等の位置図

早期に対策を要する施設は144施設あり、これまでに100施設の修繕に着手済み



凡例

- 高速道路: —
- 一般国道: —
- 都道府県道: —

---

- 措置未着手: ● (red)
- 措置着手済: ● (blue)
- 措置完了済: ● (black)

※全道路管理者(国、高速道路会社、地方公共団体)の管理する施設のうち、2014年度から2020年度までの点検において判定区分Ⅲ・Ⅳと診断された施設を対象に速報値として記載(2020年度に点検した施設のうち、2021年2月末時点で判定区分が未定の施設は記載していない。また、措置着手済・完了済には2021年3月末の見込みで記載している。)

# 和歌山県内の判定区分Ⅲ・Ⅳ橋梁の位置図

早期に対策を要する施設は1,141橋あり、これまでに600橋の修繕に着手済み



### 凡例

- 高速道路: —
- 一般国道: —
- 都道府県道: —

- 措置未着手: ● (Red)
- 措置着手済: ● (Blue)
- 措置完了済: ● (Black)

※全道路管理者(国、高速道路会社、地方公共団体)の管理する施設のうち、2014年度から2020年度までの点検において判定区分Ⅲ・Ⅳと診断された施設を対象に速報値として記載(2020年度に点検した施設のうち、2021年2月末時点で判定区分が未定の施設は記載していない。また、措置着手済・完了済には2021年3月末の見込みで記載している。)



# 和歌山県内の判定区分Ⅲ・Ⅳ トンネル・道路附属物等の位置図 図2

早期に対策を要する施設は140施設あり、これまでに110施設の修繕に着手済み



**凡例**

高速道路: —  
 一般国道: —  
 都道府県道: —

---

措置未着手: ● (Red)  
 措置着手済: ● (Blue)  
 措置完了済: ● (Black)

※全道路管理者(国、高速道路会社、地方公共団体)の管理する施設のうち、2014年度から2020年度までの点検において判定区分Ⅲ・Ⅳと診断された施設を対象に速報値として記載(2020年度に点検した施設のうち、2021年2月末時点で判定区分が未定の施設は記載していない。また、措置着手済・完了済には2021年3月末の見込みで記載している。)

【防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策】(河川隣接構造物の流失防止対策)

一般国道42号 和歌山42号維持管理

- 一般国道42号は、静岡県浜松市を起点とし和歌山県和歌山市に至る全長約470kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定
- 橋梁や道路の流失等による道路の通行止めのリスクを解消するため、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策として、国道42号津荷橋において、護岸工等の洗堀・流失対策工事を実施することで、河川に隣接する道路構造物の流失防止対策を推進

【代表事例】

《位置図》



《諸元等》

橋梁名 : 津荷橋  
 事業区間 : 東牟婁郡串本町津荷  
 建築年 : 1973年4月1日  
 橋長 : 96.70m

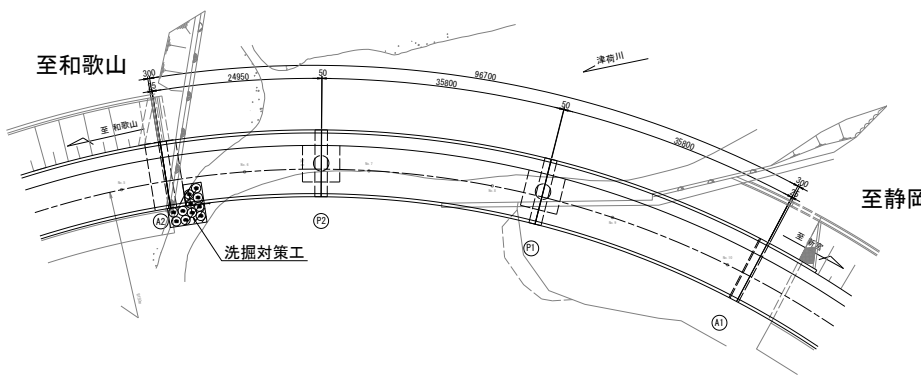
《全景》



《現状》



《対策イメージ》

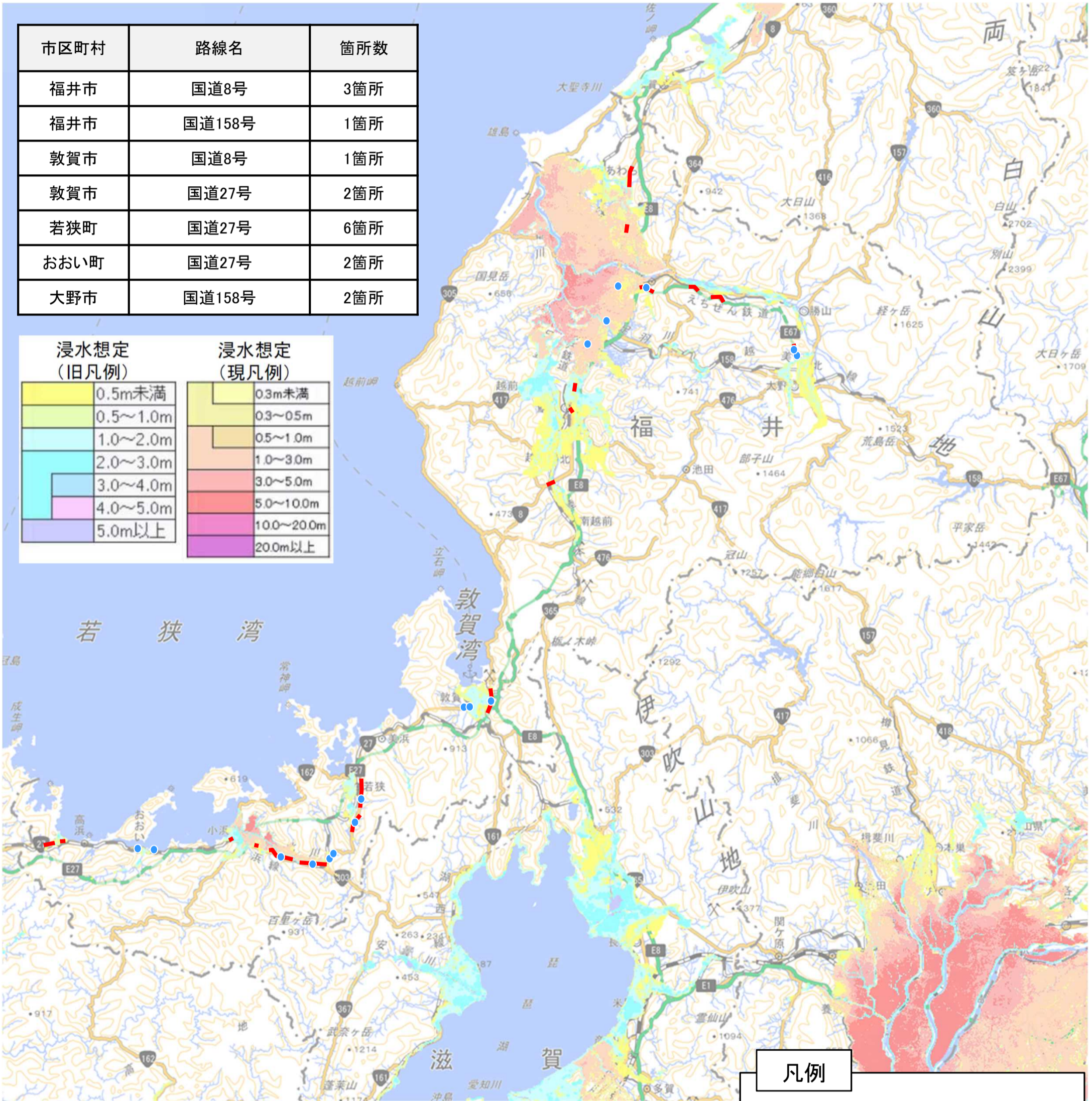


# 直轄国道における高架区間等の緊急避難場所としての活用が可能な箇所位置図(福井県)

津波や洪水による浸水から避難するため、道路の高架区間等の活用が可能な箇所17箇所において、避難階段等の施設整備を推進

市区町村	路線名	箇所数
福井市	国道8号	3箇所
福井市	国道158号	1箇所
敦賀市	国道8号	1箇所
敦賀市	国道27号	2箇所
若狭町	国道27号	6箇所
おおい町	国道27号	2箇所
大野市	国道158号	2箇所

浸水想定 (旧凡例)		浸水想定 (現凡例)	
0.5m未満	0.5~1.0m	0.3m未満	0.3~0.5m
1.0~2.0m	2.0~3.0m	0.5~1.0m	1.0~3.0m
3.0~4.0m	4.0~5.0m	3.0~5.0m	5.0~10.0m
5.0m以上		10.0~20.0m	20.0m以上



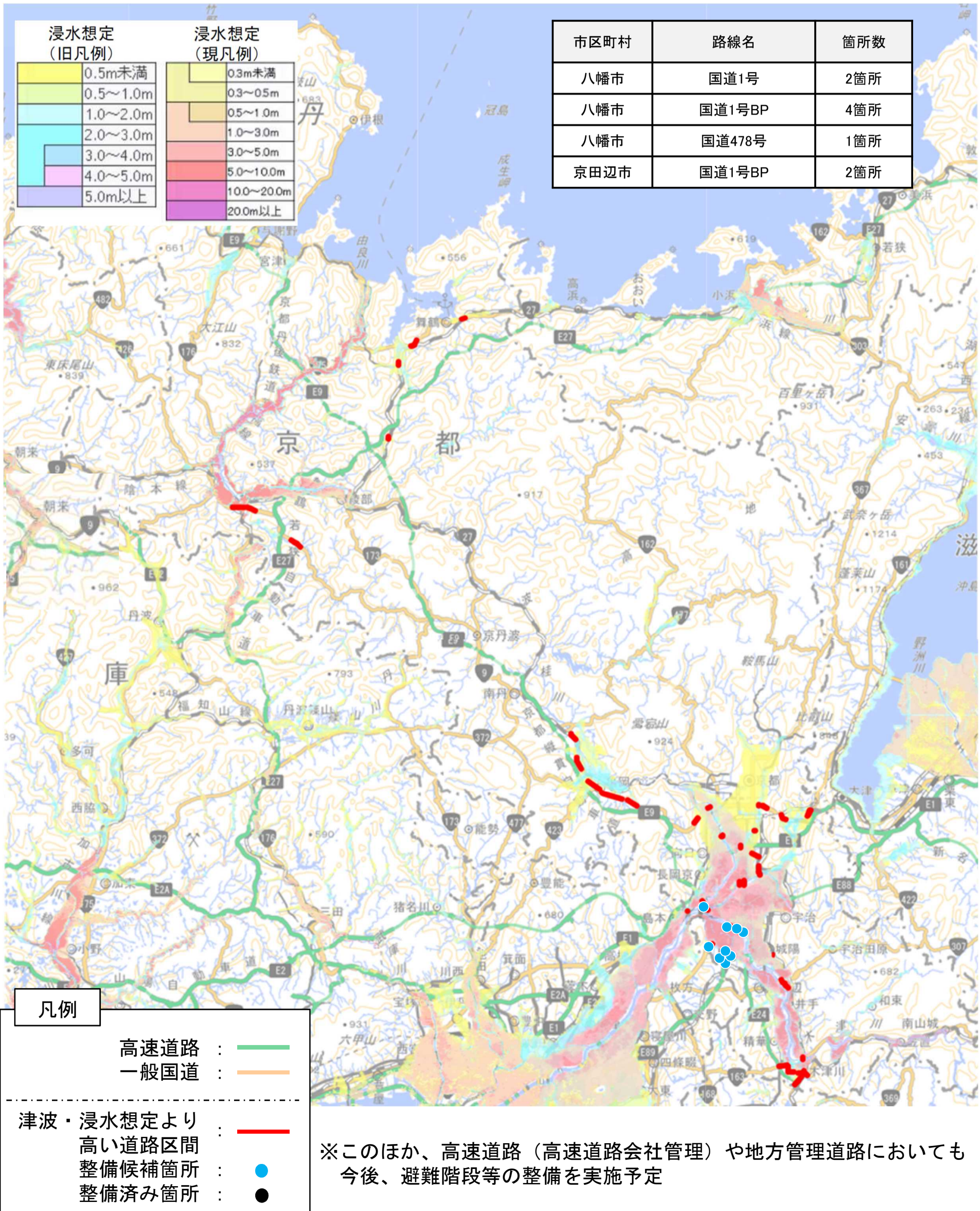
**凡例**

- 高速道路 : —
- 一般国道 : —
- 津波・浸水想定より高い道路区間 : - - -
- 整備候補箇所 : ● (Blue)
- 整備済み箇所 : ● (Black)

※このほか、高速道路（高速道路会社管理）や地方管理道路においても今後、避難階段等の整備を実施予定

# 直轄国道における高架区間等の緊急避難場所としての活用が可能な箇所位置図(京都府)

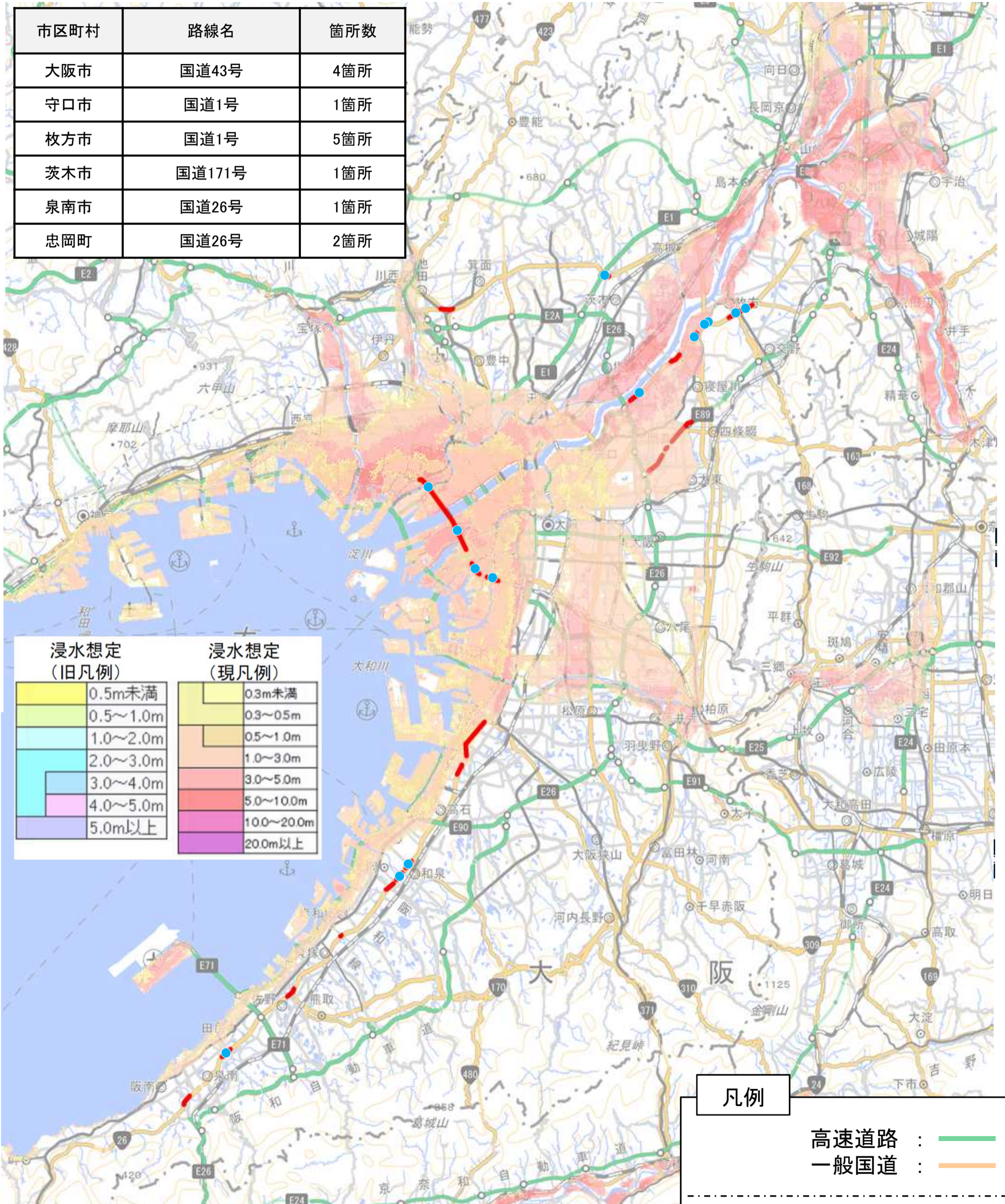
津波や洪水による浸水から避難するため、道路の高架区間等の活用が可能な箇所9箇所において、避難階段等の施設整備を推進



# 直轄国道における高架区間等の緊急避難場所としての活用が可能な箇所位置図(大阪府)

津波や洪水による浸水から避難するため、道路の高架区間等の活用が可能な箇所14箇所において、避難階段等の施設整備を推進

市区町村	路線名	箇所数
大阪市	国道43号	4箇所
守口市	国道1号	1箇所
枚方市	国道1号	5箇所
茨木市	国道171号	1箇所
泉南市	国道26号	1箇所
忠岡町	国道26号	2箇所



※このほか、高速道路（高速道路会社管理）や地方管理道路においても今後、避難階段等の整備を実施予定

**凡例**

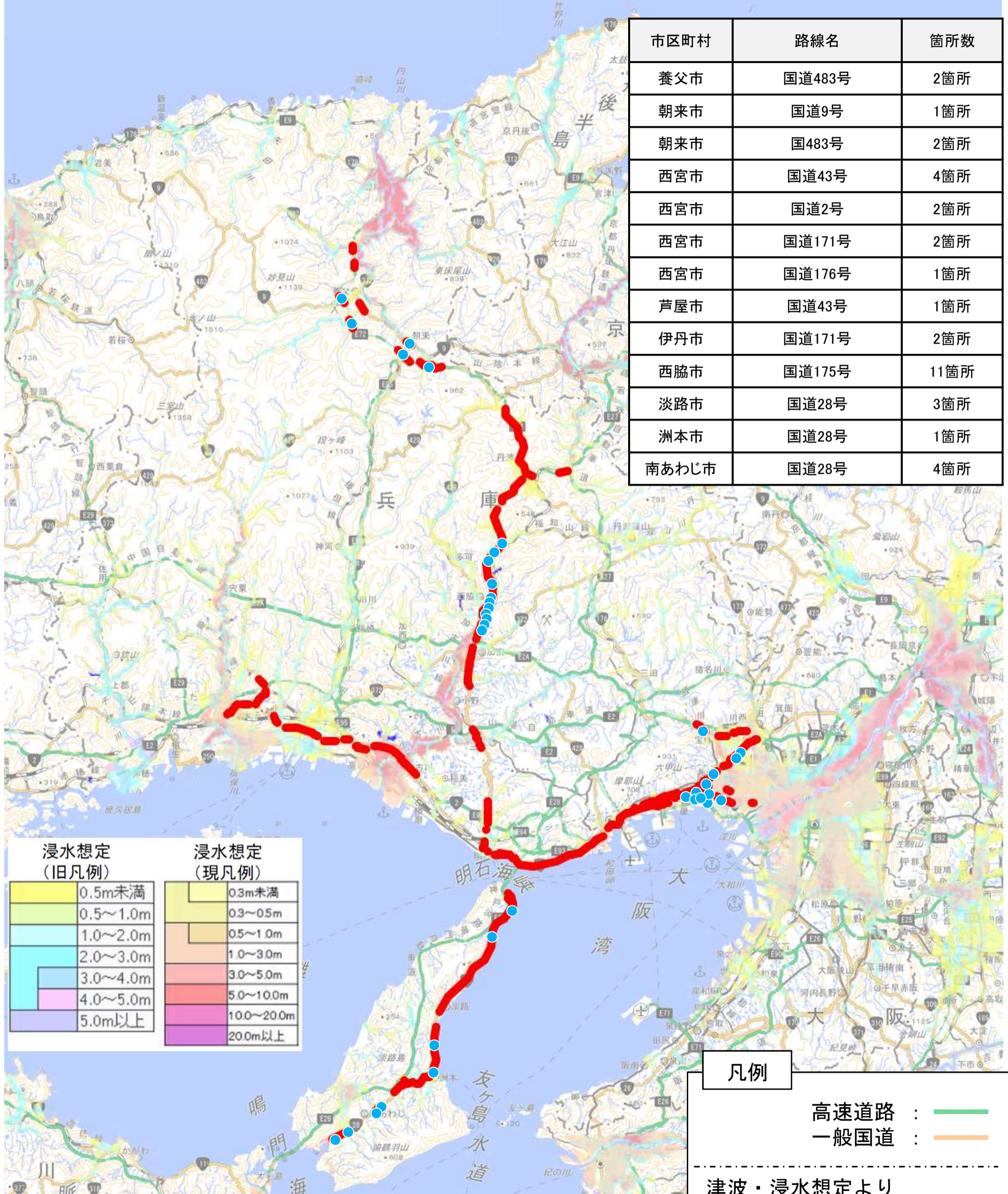
- 高速道路 : —
- 一般国道 : —

---

- 津波・浸水想定より高い道路区間 : - - -
- 整備候補箇所 : ● (Blue)
- 整備済み箇所 : ● (Black)

# 直轄国道における高架区間等の緊急避難場所としての活用が可能な箇所位置図(兵庫県)

津波や洪水による浸水から避難するため、道路の高架区間等の活用が可能な箇所36箇所において、避難階段等の施設整備を推進



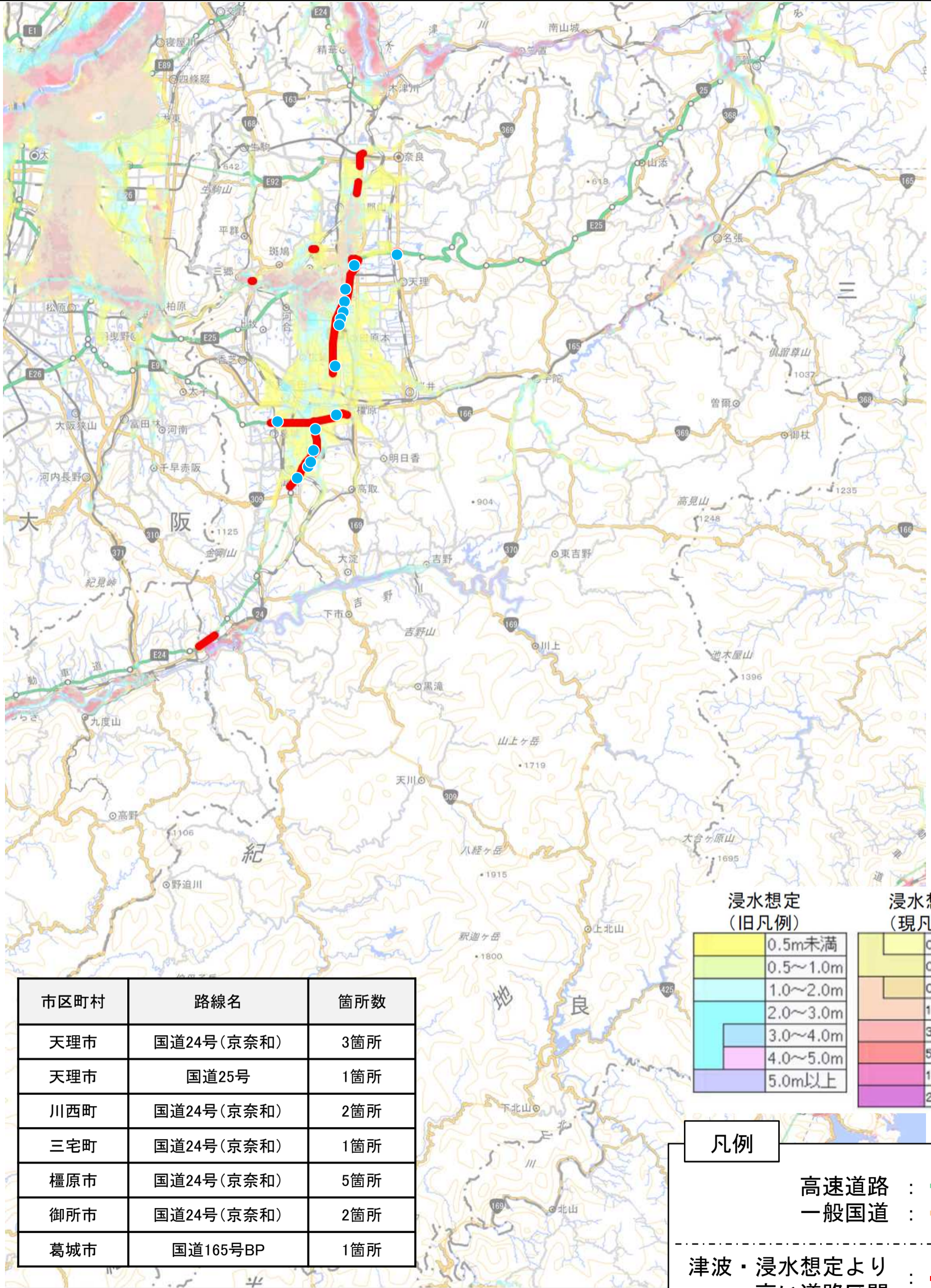
浸水想定 (旧凡例)		浸水想定 (現凡例)	
0.5m未満	0.5~1.0m	0.3m未満	0.3~0.5m
1.0~2.0m	2.0~3.0m	0.5~1.0m	1.0~3.0m
3.0~4.0m	4.0~5.0m	3.0~5.0m	5.0~10.0m
5.0m以上		10.0~20.0m	20.0m以上

凡例	
高速道路	— (緑色)
一般国道	— (茶色)
津波・浸水想定より高い道路区間	— (赤色)
整備候補箇所	● (青色)
整備済み箇所	● (黒色)

※このほか、高速道路（高速道路会社管理）や地方管理道路においても今後、避難階段等の整備を実施予定

# 直轄国道における高架区間等の緊急避難場所としての活用が可能な箇所位置図(奈良県)

津波や洪水による浸水から避難するため、道路の高架区間等の活用が可能な箇所15箇所において、避難階段等の施設整備を推進

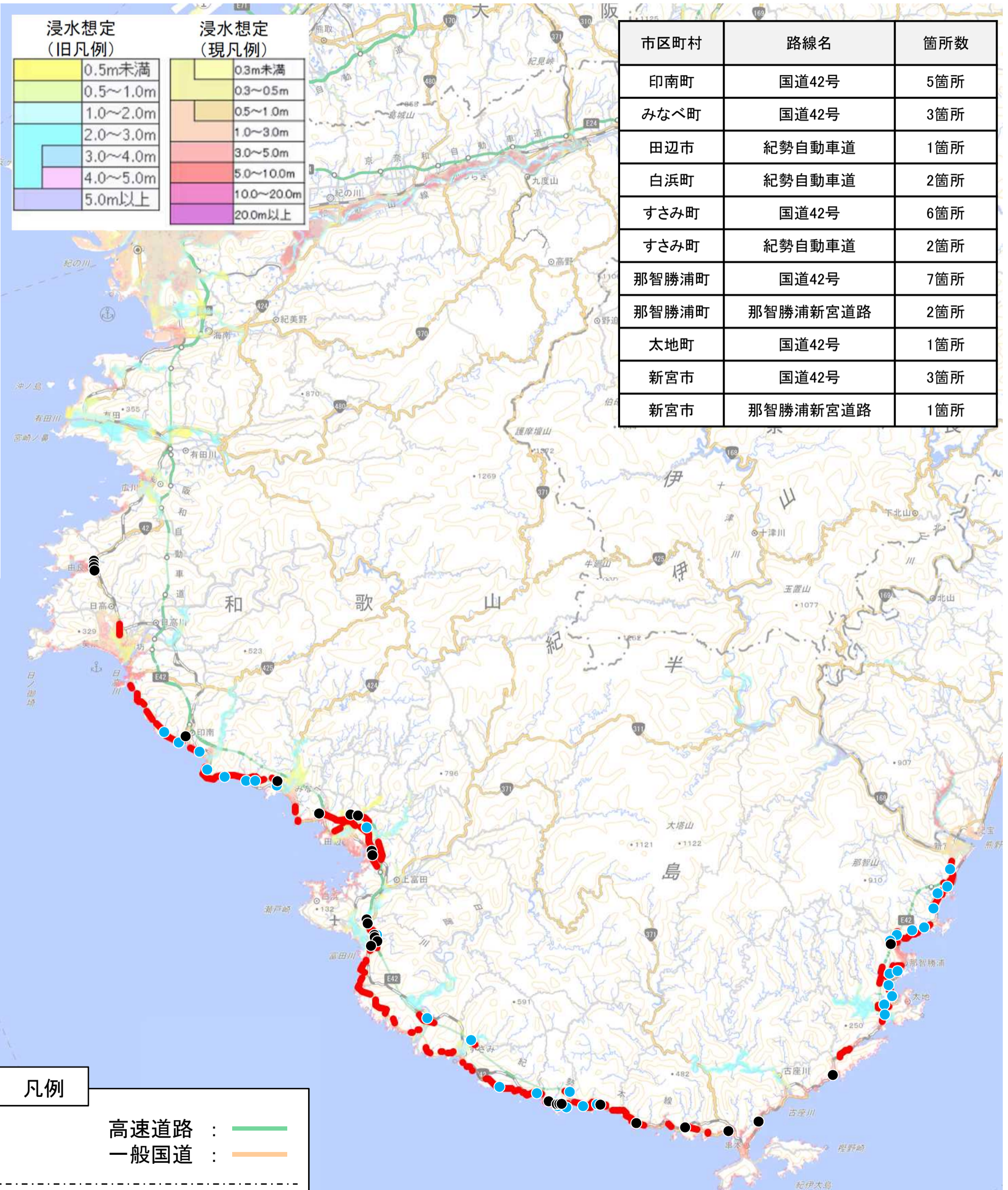


※このほか、高速道路（高速道路会社管理）や地方管理道路においても今後、避難階段等の整備を実施予定

津波・浸水想定より  
高い道路区間  
整備候補箇所 : ●  
整備済み箇所 : ●

# 直轄国道における高架区間等の緊急避難場所としての活用が可能な箇所位置図(和歌山県)

津波や洪水による浸水から避難するため、道路の高架区間等の活用が可能な箇所33箇所において、避難階段等の施設整備を推進



市区町村	路線名	箇所数
印南町	国道42号	5箇所
みなべ町	国道42号	3箇所
田辺市	紀勢自動車道	1箇所
白浜町	紀勢自動車道	2箇所
すさみ町	国道42号	6箇所
すさみ町	紀勢自動車道	2箇所
那智勝浦町	国道42号	7箇所
那智勝浦町	那智勝浦新宮道路	2箇所
太地町	国道42号	1箇所
新宮市	国道42号	3箇所
新宮市	那智勝浦新宮道路	1箇所

**凡例**

- 高速道路 : —
- 一般国道 : —
- 津波・浸水想定より高い道路区間 : —
- 整備候補箇所 : ● (blue)
- 整備済み箇所 : ● (black)

※このほか、高速道路（高速道路会社管理）や地方管理道路においても今後、避難階段等の整備を実施予定



【防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策】(高架区間等の緊急避難場所としての活用)

一般国道43号 大阪43号維持管理

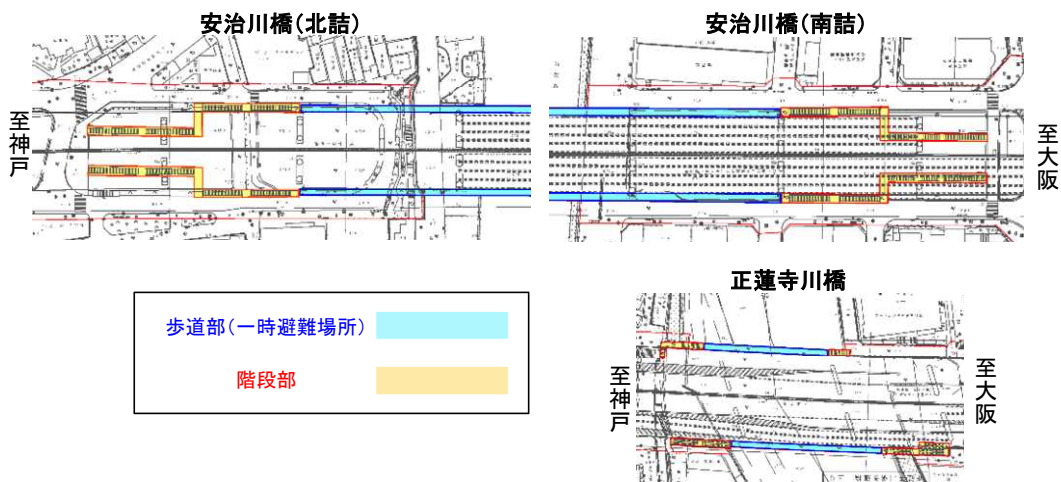
- 一般国道43号は、大阪府大阪市を起点とし兵庫県神戸市に至る全長約30kmの主要幹線道路であり、大阪府の広域緊急交通路に指定
- 津波や洪水からの緊急避難場所を確保するため、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策として、国道43号安治川橋(大阪府大阪市港区地区)および正蓮寺川橋(大阪市此花区地区)において、高架橋歩道部への接続階段の耐震化を実施することで、高架区間等を活用した避難施設の整備を推進

【代表事例】

《位置図》



《平面図》



《諸元等》

【安治川橋】

大阪市港区弁天～此花区春日出南

【正蓮寺川橋】

大阪市此花区春日出北～伝法

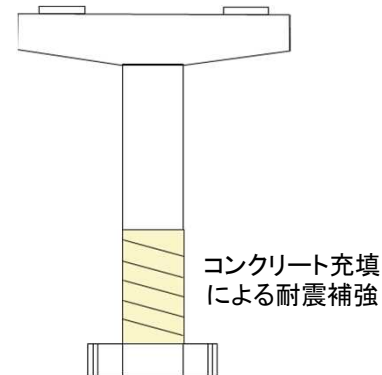
整備内容：高架橋歩道部・接続階段の耐震化

《現状》

安治川橋



《対策イメージ》



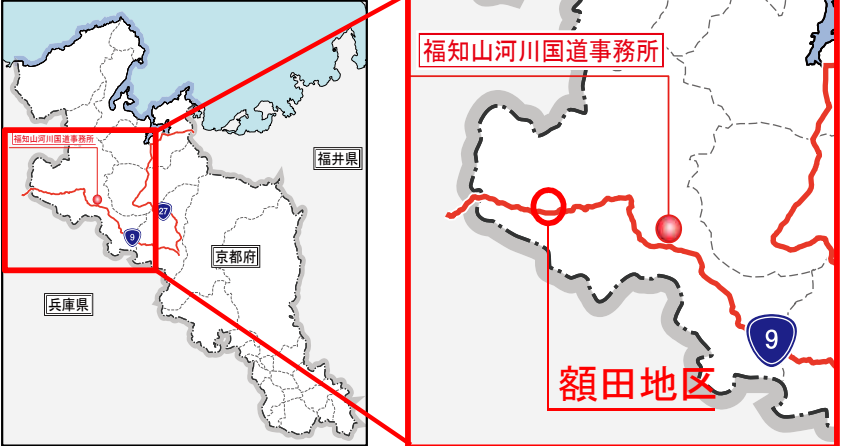
【防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策】(道路法面・盛土対策)

一般国道9号 京都9号維持管理

- 一般国道9号は、きょうとふ きょうとし 京都府京都市を起点としやまぐちけん しものせきし 山口県下関市に至る全長約651kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定
- 土砂災害等による道路の通行止めのリスクを解消するため、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策として、きょうとふ ふくち やまし やくの ちょう めかた 国道9号京都府福知山市夜久野町額田地区において、鉄筋挿入工・吹付法砕工等を実施することで、道路法面・盛土対策を推進

【代表事例】

《位置図》



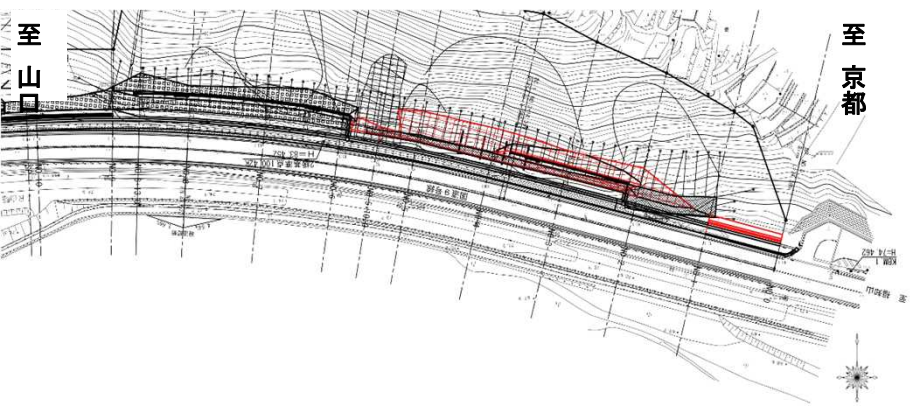
《全景写真》



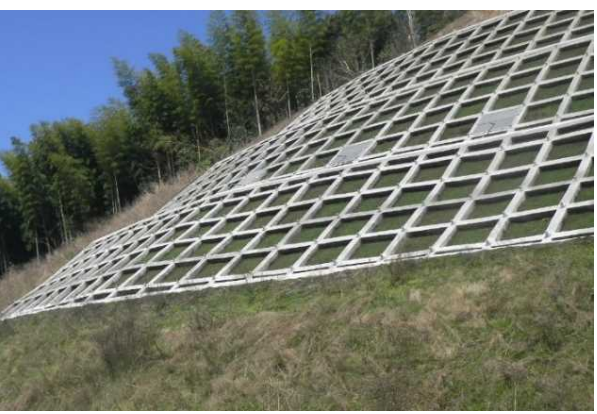
《諸元等》

事業区間 : きょうとふ ふくち やまし やくの ちょう めかた 京都府福知山市夜久野町額田地区  
 延長 : L=0.1km

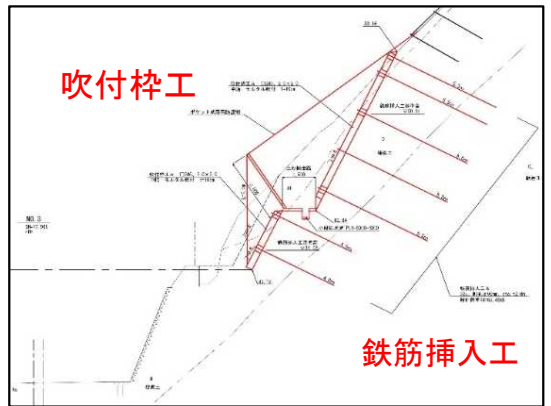
《平面図》



《対策イメージ》



《断面図》



福井27号電線共同溝 (高浜町日置・青電線共同溝)

電柱倒壊による道路の通行止めリスクを解消するため、市街地の緊急輸送道路であり、災害時において青郷小学校～高浜町役場等 へのアクセスに重要な当該区間における無電柱化を推進。

【代表事例】

《位置図》



《諸元等》

事業区間：福井県大飯郡高浜町日置～福井県大飯郡高浜町青
延長：1.2km
全体事業費：4億円

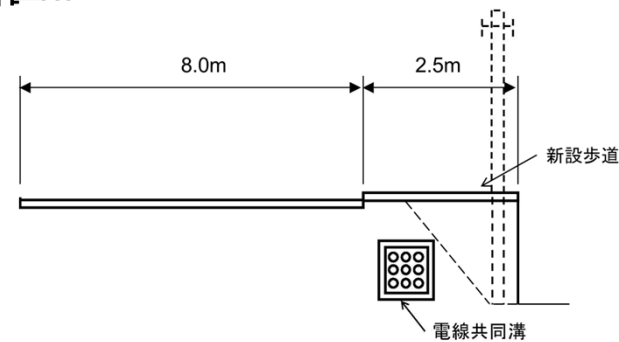
《現地状況写真》



《平面図》



《標準横断図》



# 滋賀1号電線共同溝 (本宮電線共同溝)

電柱倒壊による道路の通行止めおおつ しがのリスクを解消するため、市街地の緊急輸送道路であり、災害時において大津IC～滋賀県庁等おおつ しがへのアクセスに重要な当該区間における無電柱化を推進。

## 【代表事例】

### 《位置図》



### 《諸元等》

事業区間：滋賀県大津市本宮2丁目  
～滋賀県大津市音羽台

延長：1.4 km  
全体事業費：11億円

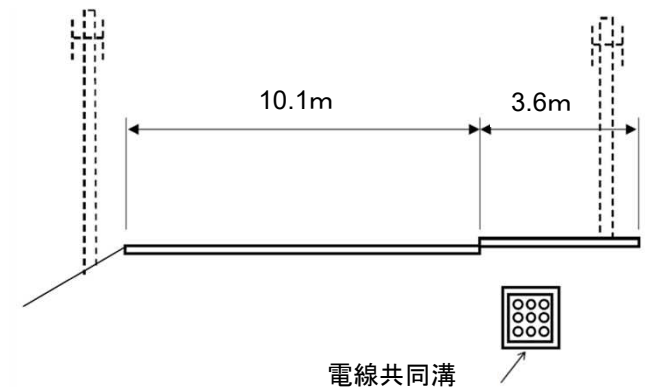
### 《現地状況写真》



### 《平面図》



### 《標準横断図》



# 京都24号電線共同溝 (十条電線共同溝)

電柱倒壊による道路の通行止めのリスクを解消するため、市街地の緊急輸送道路であり、災害時において鴨川東IC～南消防署等 へのアクセスに重要な当該区間における無電柱化を推進。

## 【代表事例】 《位置図》

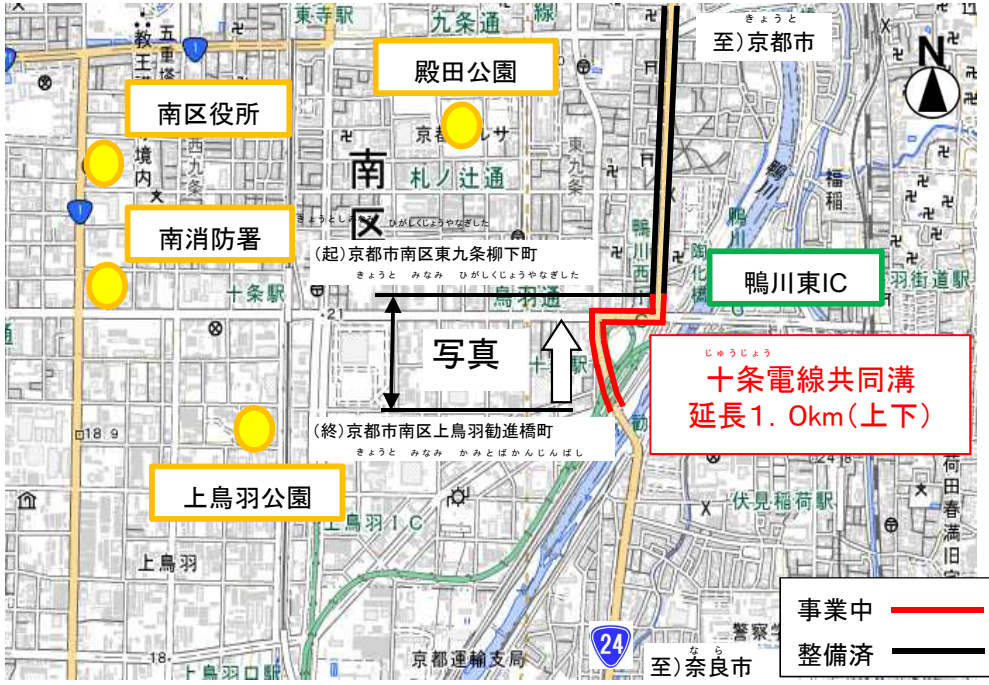


## 《諸元等》

事業区間：京都市南区東九条柳下町  
 ～京都市南区上鳥羽  
 勧進橋町

延長：1.0km  
 全体事業費：9億円

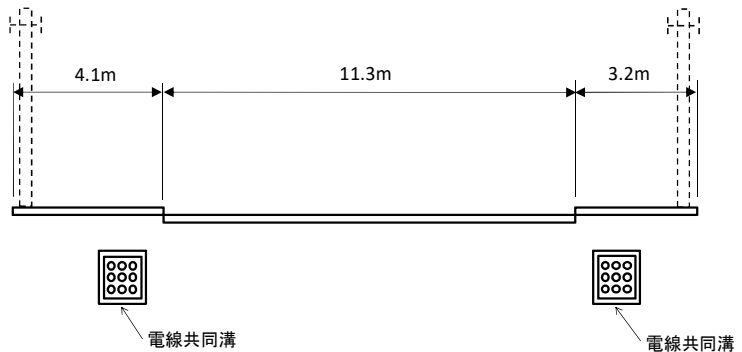
## 《平面図》



## 《現地状況写真》



## 《標準横断図》



【防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策】(無電柱化対策)

大阪171号電線共同溝 (天神豊島電線共同溝)

電柱倒壊による道路の通行止め等のリスクを解消するため、大阪府の重要物流道路及び広域緊急交通路であり、災害時において中国池田IC～池田市役所等へのアクセスに重要な当該区間における無電柱化を推進。

【代表事例】

《位置図》



《諸元等》

事業区間：大阪府池田市天神1丁目  
～大阪府池田市豊島1北  
延長：3.8 km  
全体事業費：25億円

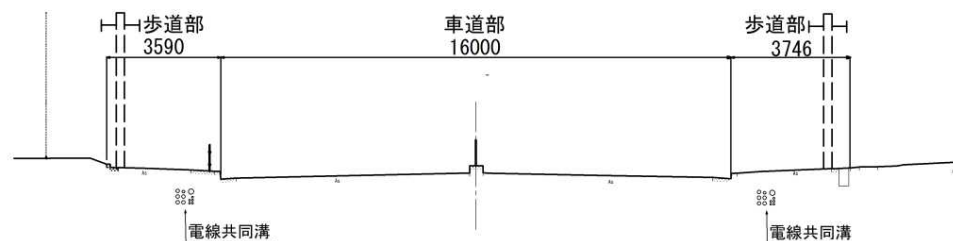
《平面図》



《現地状況写真》



《標準横断図》



# 兵庫43号電線共同溝 (芦屋電線共同溝)

電柱倒壊による道路の通行止めのリスクを解消するため、市街地の緊急輸送道路であり、災害時において芦屋市役所等～西宮IC等 へのアクセスに重要な当該区間における無電柱化を推進。

## 【代表事例】

### 《位置図》



### 《諸元等》

事業区間：兵庫県芦屋市打出町6丁目  
ひょうごけんあしやしうちでちよう  
 ～兵庫県芦屋市平田北町  
ひょうごけんあしやしひらたきたちよう  
 延長：2.2km  
 全体事業費：17億円

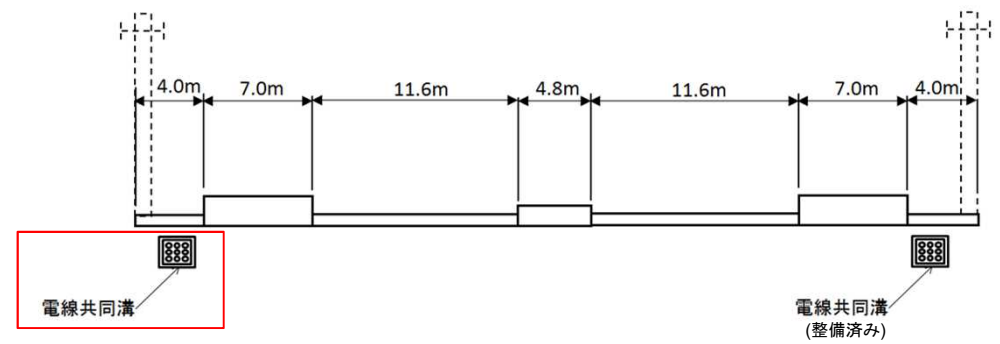
### 《平面図》



### 《現地状況写真》



### 《標準横断図》

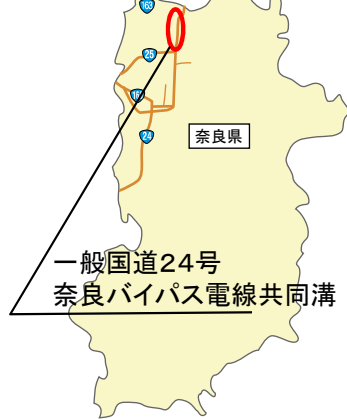


# 奈良24号電線共同溝（奈良バイパス電線共同溝）

電柱倒壊による道路の通行止めリスクを解消するため、市街地の緊急輸送道路であり、災害時において郡山IC～奈良県庁等へのアクセスに重要な当該区間における無電柱化を推進。

## 【代表事例】

### 《位置図》



### 《諸元等》

事業区間：奈良県奈良市二条大路南1丁目  
 ～奈良県大和郡山市伊豆七条町

整備延長：14.2km  
 全体事業費：42億円

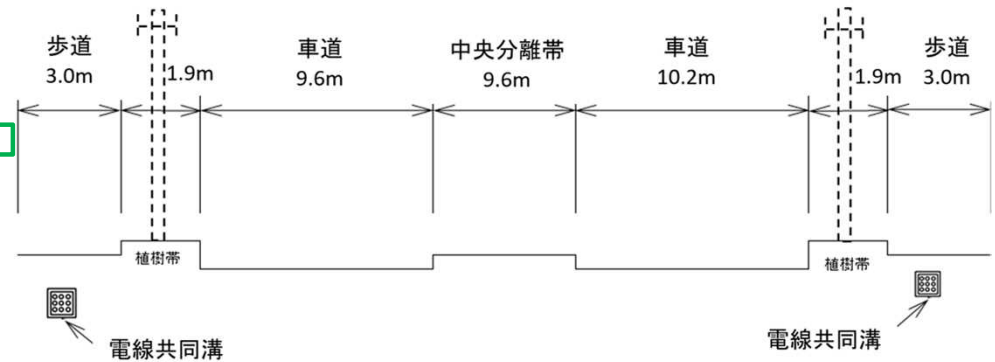
### 《現地状況写真》



### 《平面図》



### 《標準横断図》





# 和歌山県24号電線共同溝 (栗栖電線共同溝)

電柱倒壊による道路の通行止めリスクを解消するため、市街地の緊急輸送路であり、災害時において和歌山IC～日進中学校等へのアクセスに重要な当該区間における無電柱化を推進。

## 【代表事例】

### 《位置図》



### 《諸元等》

事業区間：和歌山県和歌山市鳴神  
～和歌山県和歌山市栗栖  
延長：1.6km  
全体事業費：14億円

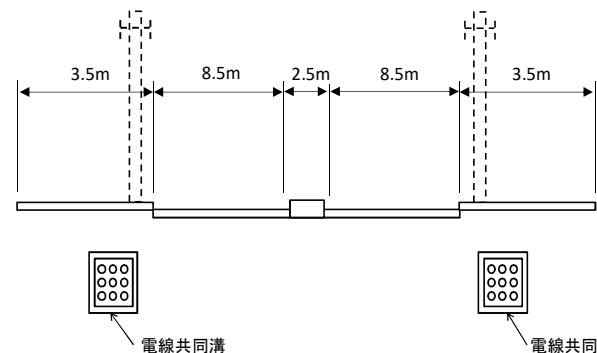
### 《現地状況写真》



### 《平面図》



### 《標準横断面図》



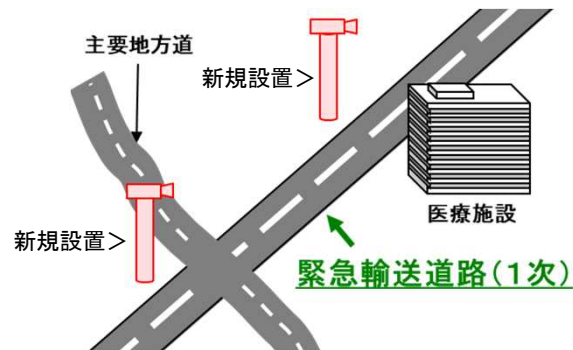
一般国道8号 福井8号維持管理

- 緊急輸送道路(1次)のうち緊急通行車両の通行の確保の観点から重要な路線(区間)でCCTVカメラが必要な区間のうち、特に交通集中が予想される区間や、既存CCTVが近傍にない区間等にCCTVカメラを設置する。
- AI技術を活用した画像解析技術を用いた交通障害検知システムを順次導入

《実施内容》

【CCTVカメラの増設】

医療施設等の付近や他の枝路線が接続する箇所など災害発生時に交通集中が予想される箇所に増設



設置箇所イメージ



CCTVカメラの設置例

【AIを活用した交通障害自動検知】

AI技術による画像解析技術を用いた交通障害検知システムの導入



検知イメージ(悪天候時)



検知イメージ(トンネル内)

《代表事例(CCTVカメラの増設)》

【位置図】

【諸元等】



事業区間：  
国道8号沿線  
延長：  
100.3km



北陸道 丸岡IC接続部付近



北陸道 福井北IC接続部付近

